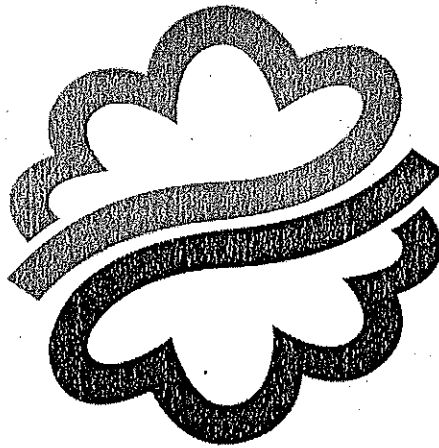


令和元年度

教育委員会の自己点検・評価報告書

(平成 30 年度事業対象)



菊川市 教育委員会

目 次

	ページ
1 教育委員会の点検・評価について	
1) 趣旨	2
2) 点検・評価の対象	2
3) 点検・評価シートの構成	2
4) 学識経験者の知見の活用について	3
5) 公表について	3
2 教育委員会の活動及び運営状況報告	
1) 教育委員会委員構成	4
2) 平成 30 年度教育委員会審議状況	5
(1) 菊川市教育委員会審議案件	5
(2) 菊川市教育委員会報告事項	8
3) 平成 30 年度教育委員会議以外の活動報告	10
3 自己点検・評価シート	
1) 教育委員会の活動「シート1」	12
2) 教育委員会が管理・執行する事務「シート2」	13
3) 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務「シート3」	14
幼児教育課 事務事業評価	15
学校教育課 事務事業評価	19
教育総務課 事務事業評価	23
社会教育課（社会教育）事務事業評価	25
社会教育課（生涯学習）事務事業評価	27
社会教育課（社会教育・文化振興）事務事業評価	29
社会教育課（スポーツ振興）事務事業評価	33
図書館 事務事業評価	37
4 学識経験者の意見	
1) 外部評価	41

1. 教育委員会の点検・評価について

1) 趣旨

平成20年4月1日に施行された「地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条」の規定に基づき、教育委員会は毎年、その権限に属する主要な施策や事務事業の取り組み状況について、教育委員会自らが点検評価を行うことが義務付けられました。

これは、教育委員会の今後の取組の方向性や課題を明らかにすることにより、政策効果、必要性、効率性等について、教育行政の一層の推進を図ることを目的としています。

また、結果に関する報告書を作成し、市議会へ提出するとともに一般市民に公表することにより、説明責任を果たし、信頼される教育行政の推進を目指してまいります。

2) 点検・評価の対象

点検・評価の実施にあたっては、平成30年度における教育委員会の活動や運営状況及び関係各課の事務事業を対象として点検評価を実施いたしました。

3) 点検・評価シートの構成

① 教育委員会の活動及び運営状況「シート1」

平成30年度における教育委員会の活動及び運営状況の報告を行うとともに、会議の運営改善・公開、情報発信等の活動や運営について、自らが行う事業や活動を中心に6つの項目に分け、点検事項として小項目を設け、各項目の点検評価を行いました。

② 教育委員会が管理・執行する事務「シート2」

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の定めるところによる、教育委員会が自ら管理・執行する事項について、12の項目に分け構成しました。

上記の①と同様に平成30年度における各事務の発生状況と対応状況について点検評価を行いました。

③ 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務「シート3」

規定により、教育委員会が管理・執行を教育長に委任して行う事務・事業のうち、教育委員会事務局を構成する各担当課が扱う施策ごとに体系図と点検評価のシートを作成し、施策を構成する主な事務事業の実施状況について点検し、評価を実施しました。

4) 学識経験者の知見の活用について

法第26条2項の規定による「学識経験等の知見の活用」については、それぞれ関係する組織の代表者の皆様にお願ひし、評価結果に対するご意見をいただき外部評価としました。

外部評価依頼者

	職 名		氏 名	対象事務事業
1	教育委員	元委員	佐々木 和宏	教育委員会活動、学校教育
2	教育文化部	元部長	栗田 正弘	教育委員会活動、幼児教育
3	社会教育委員	委員長	中嶋 るり子	社会教育、文化振興・生涯学習
4	小中PTA連絡協議会	前会長	福井 久和	学校教育
5	子ども会連合会	会長	牛見 和生	社会教育
6	文化協会	副会長	渡辺 吉嗣	文化振興・生涯学習
7	文化財保護審議会	会長	北原 勤	文化財
8	〃	委員	後藤 道照	〃
9	スポーツ推進委員	委員長	安藤 正樹	スポーツ振興
10	NPO法人体育協会	会長	岩水 素江	スポーツ振興・生涯学習
11	スポーツ推進審議会	副会長	伊藤 幸次	スポーツ振興
12	図書館協議会	会長	山中 正美	図書館
13	〃	副会長	大石 正徳	〃
14	給食センター運営委員会	前委員長	本間 真奈美	学校給食
15	〃	前副委員長	土屋 和恵	〃
16	公立幼稚園	元園長	山下 洋子	幼児教育

5) 公表について

公表については、菊川市のホームページに掲載いたします。

2. 教育委員会の活動及び運営状況報告

1) 菊川市教育委員会 委員構成

平成30年4月1日現在

職名	氏名	任期	
教育長	石原 潔	任期	H28.2.10～H31.2.9
		教育長任期	H28.2.10～H31.2.9
委員 (教育長職務代理者)	松下 彰	任期	H30.2.10～H34.2.9
		職務代理者任期	H28.2.10～H34.2.9
委員	赤堀 加世子	任期	H29.2.10～H32.2.9
	笹瀬 昌子	任期	H27.2.10～H31.2.9
	岡本 直彦	任期	H29.2.10～H33.2.9

2) 菊川市教育委員会 委員構成

平成31年2月10日現在

職名	氏名	任期	
教育長	松本 嘉男	任期	H31.2.10～H34.2.9
		教育長任期	H31.2.10～H34.2.9
委員 (教育長職務代理者)	松下 彰	任期	H30.2.10～H34.2.9
		職務代理者任期	H28.2.10～H34.2.9
委員	赤堀 加世子	任期	H29.2.10～H32.2.9
	笹瀬 昌子	任期	H31.2.10～H35.2.9
	岡本 直彦	任期	H29.2.10～H33.2.9

2) 平成30年度 菊川市教育委員会審議状況

(1) 菊川市教育委員会 審議案件

議案 番号	件 名	提出日		担 当 課
1	平成30年度指定学校変更について	4月17日	定例会	学校 教育 課
2	平成30年度就学支援委員の委嘱について	"	"	"
3	平成30年度菊川市立小中学校主任等の任命について	"	"	"
4	平成30年度小中学校評議員の委嘱について	"	"	"
5	平成30年度市教育委員会研究指定校について	"	"	"
6	平成30年度幼稚園評議員の委嘱について	"	"	幼 児 教 育 課
7	菊川市スポーツ推進審議会委員の委嘱について	"	"	社 会 教 育 課
8	菊川市スポーツ推進委員の委嘱について	"	"	"
9	菊川市スポーツ委員の委嘱について	"	"	"
10	菊川市社会教育委員会委員の委嘱について	"	"	"
11	準要保護世帯の認定について	5月15日	定例会	教 育 総 務 課
12	菊川市立図書館協議会委員の任命について	"	"	図 書 館
13	菊川市子ども読書活動推進協議会委員の任命について	"	"	"
14	菊川市立学校給食センター運営委員会委員の委嘱及び任命について	"	"	教 育 総 務 課
15	菊川市青少年健全育成市民会議常任委員の委嘱について	"	"	社 会 教 育 課
16	菊川市菊川文化会館アエル運営委員の委嘱について	"	"	"
17	平成30年度一般会計補正予算(第1号)(案)について	"	"	調 整 室
18	準要保護の認定について	6月12日	定例会	教 育 総 務 課
19	菊川城館遺跡群整備委員会委員の委嘱について	"	"	社 会 教 育 課
20	菊川市文芸誌編集委員の委嘱について	"	"	"
21	平成31年度～32年度使用「中学校特別の教科道徳」教科用図書及び、平成31年度使用「小学校特別の教科道徳を除く全教科」教科用図書の採択について	"	"	学 校 教 育 課
22	準要保護世帯の認定について	"	"	教 育 総 務 課
23	平成30年度一般会計補正予算(第2号)(案)について	7月17日	定例会	調 整 室
24	平成30年度一般会計補正予算(第3号)(案)について	8月22日	定例会	調 整 室
25	平成30年度一般会計補正予算(第4号)(案)について	9月18日	定例会	調 整 室
26	準要保護世帯の認定について	"	"	教 育 総 務 課
27	ひがし保育園への学校給食の提供について	"	"	"
28	準要保護世帯の認定について	10月24日	定例会	教 育 総 務 課
29	平成30年度一般会計補正予算(第5号)(案)について	"	"	学 校 教 育 課
30	平成31年度組織機構(案)及び組織変更に伴う事務の補助執行等について	11月20日	定例会	調 整 室
31	教育委員会に属する職員の人事異動について	11月20日	定例会	調 整 室

議案 番号	件 名	提出日		担 当 課
32	菊川市学校給食調理等業務委託業者選定委員会設置要綱の一部変更について	"	"	教育総務課
33	準要保護世帯の認定について	"	"	"
34	平成31年度 指定学校変更について	12月18日	定例会	学校教育課
35	準要保護世帯の認定について	"	"	教育総務課
36	菊川市立小笠東幼稚園及び菊川市立小笠南幼稚園の廃止について	"	"	幼児教育課
37	平成30年度及び平成31年度 指定学校変更について	1月15日	定例会	学校教育課
38	菊川市教育委員会の権限に属する事務の補助執行に関する規則の制定について	"	"	調 整 室
39	菊川市教育委員会事務局組織規則の一部改正について	"	"	"
40	菊川市教育委員会職員の職の設置等に関する規則の一部改正について	"	"	"
41	菊川市教育振興基本計画策定委員会設置要綱の一部改正について	"	"	"
42	菊川市教育委員会専決規程の一部改正について	"	"	"
43	菊川市教育委員会職員の時差勤務制度に関する規程の一部改正について	"	"	"
44	菊川市子ども読書活動庁内推進委員会要綱の一部改正について	"	"	図 書 館
45	指定管理者の指定管理に係る議決事項の一部変更について	"	"	社会教育課
46	菊川市教育委員会教育長職務代理者を指名することについて	2月12日	定例会	調 整 室
47	菊川市社会教育委員及び菊川市公民館運営審議会委員の解嘱について	"	"	社会教育課
48	準要保護世帯の認定について	"	"	教育総務課
49	平成31年度 指定学校変更について	"	"	学校教育課
50	菊川市教育委員会委託研究校の指定について	"	"	"
51	菊川市立学校規則の一部改正について	"	"	"
52	平成30年度一般会計補正予算(第6号)(案)について	"	"	調 整 室
53	平成31年度一般会計当初予算(案)について	"	"	"
54	静岡県事務処理の特例に関する条例の改正に係る協議に関する教育委員会の意見について	"	"	社会教育課
55	平成31年度給食実施回数について	"	"	教育総務課
56	平成31年度給食費の額について	"	"	"
57	平成30年度教職員の人事異動について	3月1日	臨時	学校教育課
58	牧之原市菊川市学校組合規約の変更に関する教育委員会の意見について	"	"	教育総務課
59	平成31年度準要保護世帯の認定について	3月19日	定例会	教育総務課
60	平成31年度 指定学校変更について	"	"	学校教育課
61	菊川市立小学校及び中学校の通学区域に関する規則の一部改正について	3月19日	定例会	学校教育課
62	平成30年度市共通数値目標の報告と平成31年度目標値について	"	"	"
63	学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の委嘱について	"	"	"

議案 番号	件 名	提出日		担 当 課
64	菊川市立小・中学校処務規程の一部改正について	〃	〃	〃
65	菊川市中央公民館開館時間及び使用時間延長の試行延長について	〃	〃	社会教育課
66	菊川市中央公民館の臨時休館について	〃	〃	〃
67	平成31年度 菊川市教育の方針(案)について	〃	〃	教育総務課

平成30年度は合計で67件について審議を行いました。

(2) 菊川市教育委員会 報告事項

番号	件名	提出日		担当課
1	平成30年度教育委員会事務局組織及び事務について	4月17日	定例会	教育総務課
2	平成29年度家庭教育学級事業報告について	"	"	社会教育課
3	平成29年度給食費の未納状況及び給食の残食状況について	"	"	教育総務課
4	平成30年度幼稚園・認定こども園入所状況について	"	"	幼児教育課
5	小笠地域の幼稚園・保育園再編スケジュールについて	6月12日	定例会	幼児教育課
6	平成30年度教育講演会について	"	"	学校教育課
7	菊川市部活動ガイドラインについて	"	"	"
8	平成30年度定例教育委員会及び学校訪問等の日程の変更について	"	"	教育総務課
9	平成30年度一般会計補正予算(第1号)について	"	"	調整室
10	7月6日六郷小学校で発生した火災について	7月17日	定例会	調整室
11	教育関係施設のブロック塀の緊急点検報告について	"	"	"
12	菊川市文化振興計画事業実施計画点検表(平成29年度)の報告について	8月22日	定例会	社会教育課
13	放課後児童クラブ待機児童対策について	"	"	幼児教育課
14	市内小・中学校へのエアコン設置の検討について	"	"	教育総務課
15	全国学力学習状況調査の報告について	"	"	学校教育課
16	菊川市小中一貫教育基本方針(案)について	9月18日	定例会	学校教育課
17	平成30年度菊川市小学校陸上大会について	"	"	"
18	平成29・30年度菊川市教育委員会指定ICT活用研究発表会について	10月24日	定例会	学校教育課
19	平成30年度菊川市小中学校親睦音楽会について	"	"	"
20	教育委員会視察研修について	"	"	教育総務課
21	小規模保育事業の実施について	11月20日	定例会	幼児教育課
22	小笠地域の幼稚園・保育園再編について	"	"	"
23	菊川市立小・中学校等空調機器整備計画(案)について	"	"	調整室
24	平成31年度幼稚園・保育園・認定こども園・放課後児童クラブ入所申込み状況について	12月18日	定例会	幼児教育課
25	市有財産の無償譲与について	"	"	"
26	平成30年度一般会計補正予算(第6号)(案)について	1月15日	定例会	調整室
27	平成31年度一般会計当初予算(案)について	"	"	"
28	菊川市学校給食センター調理・配送等業務委託について	"	"	教育総務課
29	牧之原市菊川市学校組合規約の変更について	"	"	"
30	平成30年度第2回総合教育会議の日程変更及び教育委員会臨時会の開催について	"	"	"
31	平成30年度卒業式・平成31年度入学式日時及び管理者告辞(案)について	"	"	"

番号	件名	提出日		担 当 課
32	平成31年度定例教育委員会及び学校訪問等の日程(案)について	"	"	"
33	菊川市学校給食センター調理・配送等業務委託について	2月12日	定例会	教育総務課
34	平成31年度 菊川市教育の方針(案)について	"	"	"
35	平成30年度教職員離任式、平成31年度教職員着任式について	3月1日	臨時	学校教育課
36	平成30年度 定期監査結果について	3月19日	定例会	教育総務課
37	平成31年度定例教育委員会及び学校訪問等の日程について	"	"	"
38	平成31年度幼稚園・保育園・認定こども園・放課後児童クラブ入所状況について	"	"	幼児教育課

3) 平成30年度 教育委員会議以外の活動報告

(1) 学校及び教育施設訪問

小学校5校、中学校2校、公立幼稚園1園、教育施設2箇所及び放課後児童クラブ3箇所の訪問を実施しました。

訪問日	訪問施設	訪問日	訪問施設
5月15日	小笠図書館	10月24日	横地小学校
6月12日	堀之内小学校	11月20日	小笠北小学校
6月27日	横地、六郷、加茂小学校放課後児童クラブ	12月18日	小笠東幼稚園
7月17日	菊川西中学校	1月15日	六郷小学校
8月22日	菊川文化会館アエル	2月12日	小笠東小学校
9月18日	岳洋中学校		

(2) 会議・研修会

教育委員を対象とした次の講演会及び研修会に参加しました。

開催日	会議・研修名	出張先	出席者
4月10日	静岡県市町教育委員会委員長・教育長会	静岡市(県庁)	1名
4月13日	静西教育長連絡協議会	掛川市	1名
4月25日	静岡県市町教育委員会連絡協議会総会	藤枝市	1名
5月14日	静岡県都市教育長協議会総会	富士市	1名
5月17・18日	全国都市教育長協議会定期総会	岩手県	1名
5月25日	関東甲信越静岡市町村教育委員会連合会総会	藤枝市	1名
7月13日	静西教育長連絡協議会	掛川市	1名
7月30日	菊川市教育講演会	菊川市	2名
8月17日	静岡県市町教育長研修会	焼津市	1名
10月12日	静岡県市町教育委員会委員長・教育長会	掛川市	1名
10月17日	3市教育長研修会	掛川市	1名
11月1～2日	菊川市教育委員会視察研修会	福井県	4名
11月27日	市町教育委員会教育長連絡協議会	掛川市	1名
12月19日	静岡県市町教育長研修会	浜松市	1名
2月6日	3市教育長会	掛川市	1名

(3) 各種行事・大会

その他、次の各種行事・大会に参加しました。

開催日		行事・大会名	
開催月	行事・大会名	開催月	行事・大会名
4月	2日: 菊川市内教職員着任式 5日: 菊川市スポーツ少年団結団式 6日: 小・中学校 入学式 7日: おおぞら認定こども園入園式 10日: 幼稚園 入園式 14日: 菊川市文化協会総会 15日: 市長杯小学生バレーボール大会	10月	2日: 小学生陸上競技大会 21日: 菊川市シニアゲートボール大会 24日: 第1回菊川市総合教育会議 25日: 市内小中学校親睦音楽会
5月	20日: 菊川市写生大会 24日: 菊川市体育協会総会 26日: 市内高等学校野球大会	11月	3日: 菊川市文化祭 4日: スポーツクリエイションフェスティバル 4日: 県市町村対抗駅伝結団式、壮行会 18日: 菊川産業祭2018
6月	3日: 菊川市写生大会表彰式 14日: こころの劇場 17日: 体力測定会&健康チェック 22日: 中学生ふるさと未来塾 24日: 子ども会連合会ドッジボール大会	12月	1日: 第19回静岡県市町対抗駅伝競走大会 9日: 安全安心ひとづくり市民大会 16日: 第13回菊川Cityマラソン 20日: 県下一斉街頭生活指導 22日: 小谷村スキー体験教室
7月	7日: おはなしステーション 19日: 県下一斉街頭生活指導 30日: 全国大会出場者表敬訪問 30日: 教育講演会	1月	13日: 菊川市成人式 20日: 第15回市民健康駅伝競走大会
8月	5日: 菊川市陸上選手権大会 19日: わんぱくフェスティバル2018	2月	3日: 第13回書初め展表彰式 10日: ペタボード交流会 16日: どきどきヒストリーツアー横地城2019 23日: 小笠東・小笠南幼稚園閉園式
9月	16日: 県市町対抗駅伝大会菊川市選手選考会 22日: 菊川美術展表彰式	3月	3日: ビーチボール交流会 15日: 幼稚園卒園式 16日: おおぞら認定こども園卒園式 16日: みなみこども園落成式 20日: 小・中学校 卒業式 28日: 菊川市教職員離任式

[自己点検・評価]

シート 1		(大項目)	教育委員会の活動											
表の見方		実現度		重要度										
シート1 シート2		<table border="1"> <tr><td>A</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>B</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>C</td><td>B</td><td>A</td></tr> </table> →重要度		A			B			C	B	A	A=達成又はほぼ達成している。(80%以上) B=概ね達成している(60%以上80%未満) C=努力を要する。(60%未満)	A=非常に重要 B=重要 C=緊急性は無い
A														
B														
C	B	A												
中項目	小項目	点検・評価												
(1)教育委員会の会議の運営改善	①教育委員会会議の開催回数	実現度↑ <table border="1"> <tr><td>A</td><td></td><td>■</td></tr> <tr><td>B</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>C</td><td>B</td><td>A</td></tr> </table> →重要度	A		■	B			C	B	A	・定例会を12回、臨時会を1回開催し、67件の議案について審議した。		
	A		■											
B														
C	B	A												
②教育委員会会議の運営上の工夫	実現度↑ <table border="1"> <tr><td></td><td>■</td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </table> →重要度		■								・会議時間の短縮に努めた。 ・資料の事前配布を行った。 ・定例教育委員会の開催年間スケジュールを作成した。			
	■													
(2)教育委員会の会議の公開、傍聴者や地域住民への情報発信	①教育委員会会議の傍聴者の状況	実現度↑ <table border="1"> <tr><td></td><td>■</td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </table> →重要度		■								・平成30年度定例会において、2人の傍聴者があった。		
		■												
②議事録の公開、広報・公聴活動の状況	実現度↑ <table border="1"> <tr><td></td><td></td><td>■</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </table> →重要度			■							・平成30年度は開示請求がなかった。			
		■												
(3)教育委員会と事務局との連携	○教育委員会と事務局との連携	実現度↑ <table border="1"> <tr><td></td><td></td><td>■</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </table> →重要度			■							・教育委員会会議の開催前に事前打合せを行った。		
		■												
(4)教育委員会と首長の連携	○教育委員会と首長との意見交換会の実施	実現度↑ <table border="1"> <tr><td></td><td></td><td>■</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </table> →重要度			■							・平成30年度は2回開催した。		
		■												
(5)教育委員の自己研鑽	○研修会への参加状況	実現度↑ <table border="1"> <tr><td></td><td>■</td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </table> →重要度		■								・研修会、講演会に参加した。 ※P9 会議・研修会参照		
	■													
(6)学校及び教育施設に対する支援・条件整備	①学校訪問	実現度↑ <table border="1"> <tr><td></td><td></td><td>■</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </table> →重要度			■							・市内すべての市立小中学校、幼稚園への教育委員会訪問を実施し、各学校、幼稚園等の概要の把握、フリートーク方式による意見交換を行った。		
			■											
②所管施設の訪問	実現度↑ <table border="1"> <tr><td></td><td></td><td>■</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </table> →重要度			■							・所管する施設の施設訪問を実施し、施設の概要の把握、フリートーク方式による意見交換を行った。 (図書館、文化会館アエル、児童クラブ)			
		■												

シート 2		(大項目)	教育委員会が管理・執行する事務									
中項目	小項目	点検・評価										
		実現度 ↑ <table border="1"> <tr><td>A</td><td></td><td>■</td></tr> <tr><td>B</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>C</td><td>B</td><td>A</td></tr> </table> →重要度	A		■	B			C	B	A	・「平成30年度 菊川市教育の方針」を策定し、教育委員及び学校長並びに幹部管理職へ説明した。
A		■										
B												
C	B	A										
		実現度 ↑ <table border="1"> <tr><td></td><td></td><td>■</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </table> →重要度			■							・平成30年度には10件の規則、要綱等の制定及び一部改正を行った。
		■										
		実現度 ↑ <table border="1"> <tr><td></td><td></td><td>■</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </table> →重要度			■							・当初予算案及び定期監査結果を議案上程した。 ・補正予算については要求概要の説明を行った。
		■										
		実現度 ↑ <table border="1"> <tr><td></td><td>■</td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </table> →重要度		■								・平成30年度は小笠東、小笠南幼稚園の廃止に関する1件の議案があった。
	■											
		実現度 ↑ <table border="1"> <tr><td></td><td></td><td>■</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </table> →重要度			■							・平成30年度事務局及び教育機関の職員の人事異動についてを議案上程した。
		■										
		実現度 ↑ <table border="1"> <tr><td></td><td></td><td>■</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </table> →重要度			■							・平成30年度学校長の人事異動案について審議し内申を行った
		■										
		実現度 ↑ <table border="1"> <tr><td></td><td></td><td>■</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </table> →重要度			■							・平成30年度教職員等の人事異動案について審議し内申を行った。
		■										
		実現度 ↑ <table border="1"> <tr><td></td><td></td><td>■</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </table> →重要度			■							・教育委員会が任命・委嘱する人事案件はすべて上程し、審議をした。
		■										
		実現度 ↑ <table border="1"> <tr><td></td><td></td><td>■</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </table> →重要度			■							・平成30年度は議案1件(中学校教科書)を上程した。
		■										
		実現度 ↑ <table border="1"> <tr><td></td><td></td><td>■</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </table> →重要度			■							・平成30年度は議案1件(菊川市立小学校及び中学校の通学区域に関する規則の一部改正)を上程した。
		■										
		実現度 ↑ <table border="1"> <tr><td></td><td>■</td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </table> →重要度		■								・平成30年度は議案はなかった。
	■											
		実現度 ↑ <table border="1"> <tr><td></td><td>■</td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </table> →重要度		■								・平成30年度中に教育委員会に対する要望や異議申し立ては無かった。
	■											

シート 3

教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

各点検評価シートの実績評価

A=十分な成果があり、施策の目的が達成された。
 B=一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。
 C=十分な成果が得られず、改善が必要である。

担当課名	番号	施策 (大分類)	ページ	
幼児教育課	①	幼児教育・保育の質の向上	15	
	②	地域社会・幼稚園・保育園・認定こども園・小中学校との連携	15	
	③	教育・保育サービスの充実	15	
	④	安心できる子育て環境の整備	17	
学校教育課	①	「一人ひとりが生きる教育」の推進	19	
	②	ICT環境等を生かした魅力ある授業づくり	19	
	③	思いやりに満ちた学校づくり	19	
	④	中学校区等を核とした学びの環境づくり	21	
	⑤	こころざしを持った頼もしい教職員の育成	21	
教育総務課	⑥	学校施設の適正な維持管理・耐震化・長寿命化	23	
	⑦	安全で安心して教育が受けられる環境づくり	23	
給食センター (教育総務課)	⑧	安全でおいしい給食の安定的な提供	23	
社会教育課	①	社会教育	地域で子どもを守り育てる	25
	②		家庭の教育力向上	25
	③	生涯学習	生涯学習活動の推進	27
	④	社会教育	鑑賞機会の提供	29
	⑤		市民の文化・芸術活動への支援	29
	⑥	文化振興	文化財の保存・周知・活用	31
	⑦	スポーツ振興	誰もがスポーツに触れあう機会の創出	33
	⑧		スポーツ団体・スポーツ活動への支援	33
	⑨		スポーツ活動の場の提供	33
図書館	⑩	子どもの読書活動推進	37	
	⑪	読書環境の整備	37	
	⑫	読書機会の提供・読書活動の啓発	37	
	⑬	図書館の適正な管理運営	39	

施策体系と評価

担当課

幼児教育課

基本目標 「豊かなこころを育むまち」

施策(大分類)	施策(中分類)	施策の目的	事務・事業
① 幼児教育・保育の質の向上	子どもの発達や特性を踏まえた計画的な教育の推進と体験を通して興味・関心・意欲をふくらめる教育の推進	家庭と地域と連携して、乳幼児期の教育の目標を達成するために必要な様々な体験が豊富に得られるような環境を構成し、乳幼児期にふさわしい生活が営めるように努める。	ア 新指導計画の作成 イ 各種研修会・研究会の開催 ウ 各種園行事の充実
	(2) 保護者との連携	親子のふれあい活動を取り入れて、子育ての楽しさを感じたり、保護者同士が悩みを話し合ったり、子育ての情報を提供したりして、子育てやしつけについて学ぶ場を提供する。	ア 家庭教育学級 イ 保護者の保育参加の推進 ウ PTA活動、保護者会活動
	(3) 親子のふれあいを通した心の醸成	親子でふれあいながら活動することにより、絆を深め子どもの心の安定を図り、自己肯定感をもてるようにするとともに、絵本の楽しさを深める。	ア 親子行事の開催 イ 読み聞かせ活動の推進 ウ 図書館との連携

施策(大分類)	施策(中分類)	施策の目的	事務・事業
② 地域社会・幼稚園・保育園・認定こども園・小中学校との連携	(1) 連携した幼児教育の推進	地域の行事に園児が参加したり、防災の連携をしたりして地域との関わりを大切にする。	ア 園行事への招待と地域行事への参加 イ 老人クラブとのふれあい活動の推進 ウ 降園後のパトロール指導
	(2) 幼稚園・保育園・認定こども園との連携	公立園・私立幼稚園・民間保育所・認定こども園が幼児施設連絡会での研修会や園長会により互いの理解を図るとともに、研修により職員の資質向上を図る。	ア 菊川市幼児施設連絡会 イ 乳幼児保健会への出席 ウ 幼稚園と保育園との公開保育・保育研究
	(3) 小中学校との交流の推進	生涯の人間形成の基となる幼児期の教育の重要性を多くの人に理解してもらうため、子どもの育ちを幼稚園・保育園互いに横の連携を取りながら、小学校、中学校へとつなげる。	ア 保・幼・小連絡会の開催 イ 小・中との授業研究会への参加 ウ 小学校との行事交流

施策(大分類)	施策(中分類)	施策の目的	事務・事業
③ 教育・保育サービスの充実	(1) 子育て家族のニーズに応じた支援	乳幼児期の基本的な生活習慣を身につけさせるとともに、園と家庭が連携し安全な環境作りや安全意識を身につけさせる。	ア 預かり保育・延長保育・希望保育の実施 イ 病後児保育の実施
	(2) 保育施設の充実	乳幼児期の基本的な生活習慣を身につけさせるとともに、園と家庭が連携し安全な環境作りや安全意識を身につけさせる。	ア 認定こども園化の推進 イ 小規模保育事業等の増設 ウ 関連施設との連携
	(3) 親子で交流できる場の提供	乳幼児期の基本的な生活習慣を身につけさせるとともに、園と家庭が連携し安全な環境作りや安全意識を身につけさせる。	ア 子育て支援センターとの連携 イ 児童館との連携

基本方針	～市民一人ひとりの豊かな個性や創造力を伸ばす～
重点施策	1 「生きる力の基を育む園」づくり【幼児教育】

実績評価(施策評価)	評価	今後の取り組み課題又は改善点
各種研修会・研究会により職員の保育力を向上し、園の運営や経営の充実が図られた。また、園行事・交流会をとおして親子関係や友達関係を深めることができた。	A	子どもが多様化している中、一人一人に応じた保育を展開していくために、環境・援助のあり方を話し合い、職員の保育力を向上していく。

親子のふれあい活動を取り入れて、子育ての楽しさを感じたり、保護者同士が悩みを話し合ったり、子育ての情報を提供したりして、子育てやしつけについて学ぶ場を提供することができた。	A	核家族化、少子化、価値観の多様化などにより環境が大きく変化している。保護者自身も一人で悩みや不安を抱えながら子育てをしているため、引き続き情報収集できる場の提供を行い、家庭や地域と連携をとっていく。
--	---	---

親子でふれあいながら活動することにより、絆を深め、子どもの心の安定や心の醸成を図ることができた。	A	保護者自身も人との関わりが希薄になりがちのため、引き続き親子のふれあいの場を提供するための行事をおこなっていき、親子のかかわりの大切さや子育ての楽しさを伝えていく。
--	---	--

実績評価(施策評価)	評価	今後の取り組み課題又は改善点
地域の人が園行事に参加したり、園児が地域の行事に参加することにより、園や園児のことを知ってもらうことができた。また、降園後のパトロールにより園児の安全を確保することができた。	A	引き続き地域の方が園行事に参加できるように計画していく。また、保護者と協力しながら園児の安全を確保していく。

私立園・民間保育所と幼児施設連絡会での研修会や園長会により互いの理解を図るとともに、研修により職員の資質向上を図ることができた。	A	私立園・民間保育所と連携を密にし、今後の幼児教育の在り方を検討していく。
--	---	--------------------------------------

小学校、中学校と交流を行うことにより、入学前の子どもの引継ぎや、園から小学校への接続が円滑にできた。	A	引き続き小学校との連携を図り、園から小学校、中学校へとつなげる。
--	---	----------------------------------

実績評価(施策評価)	評価	今後の取り組み課題又は改善点
市内各園では定員を超える受入れをしていることや保育士不足もある中で、園児の受入れに協力していただいている。	A	引き続き、園児の受入れに協力していただけるよう連携に努めていく。

安全な環境づくりに向けた検討が実施できた。	A	引き続き適正な集団規模と施設配置について研究する。
-----------------------	---	---------------------------

園だより、学年だより等により基本的な生活習慣の自立の大切さや、自立に向けての具体的な方法を知らせることができた。	A	引き続き、子どもの健全な育ちを助長するための園だより、学年だより等を工夫しながら発行していく。
--	---	---

施策(大分類)	施策(中分類)	施策の目的	事務・事業
④ 安心できる 子育て環境 の整備	(1) 幼児施設の 充実と管理	子どもの安全・安心の確保を最優先に考え、施設の適切かつ適正な事業を実施する。	ア 市単独公立幼稚園施設整備 事業の実施 イ 幼児施設、設備の維持管理
	(2) 幼児施設の 整備	子どもの安全・安心の確保を最優先に考え、施設の適切かつ適正な事業を実施する。	ア 保育施設の整備 イ 認定こども園の施設整備
	(3) 地域施設の 活用	子どもの安全・安心の確保を最優先に考え、施設の適切かつ適正な事業を実施する。	ア 園外保育の充実 イ 公園等の活用

実績評価(施策評価)	評価	今後の取り組み課題又は改善点
計画的かつ効率的な発注により、園児の安全を最優先に事業実施できた。	B	施設・設備の老朽化が進んでいる園があるため、修繕で対応する件数が多くなってきている。今後の施設の在り方を検討する必要がある。
計画的かつ効率的な発注により、事業実施できた。	A	待機児童を解消するには施設整備だけでなく、保育士確保も努める必要がある。
計画的に実施することができた。	A	引き続き計画的に行事を実施する。

施策体系と評価

担当課	学校教育課
-----	-------

基本目標	「豊かなこころを育むまち」
------	---------------

施策(大分類)	施策(中分類)	施策の目的	事務・事業
① 「一人ひとりが生きる教育」の推進	(1) 特別支援教育の推進	育児や発達に対して支援の必要な全ての子どものために、個を大切にしながら教育をさらに推進し、心の教育を充実させて、「一人一人が生きる教育」を進めていく。各園・学校における体制整備及び関係部局や機関の連携協力を図り、教育・医療・保健・福祉・労働との連携を強化し、乳幼児期から就労に至るまでの一貫した支援体制を整備する。	ア 就学支援委員会の開催 イ 巡回相談及び教育相談の実施 ウ 学級学校支援員の配置
	(2) 外国人児童生徒教育支援の推進	外国人児童生徒の在籍する学校に支援員を配置し、日本語指導とともに学習・生活支援を行い、校内での学習や学校生活が円滑に進むようにする。「学校が楽しい」と答える児童生徒90%以上。	ア 外国人児童生徒就学支援 イ 外国人支援員の配置 ウ 外国人担当者研修会
	(3) 安全教育の充実	安心して学校に通える環境づくりを進めるために、学校の危機管理体制の向上を図り、児童生徒の安全意識を高める。	ア 自分の命は自分で守る防災教育 イ 交通安全教育 ウ 学校安全

施策(大分類)	施策(中分類)	施策の目的	事務・事業
② ICT環境を生かした魅力ある授業づくりの推進	(1) 「きくがわ21世紀型授業」の推進	一人一人に「確かな学力」をつけるため、主体的・対話的で深い学びのある授業「きくがわ21世紀型授業」づくりを推進する。情報教育機器の効果的な活用について研究を進め、楽しく、分かる授業を目指す。また、全国学力分析をもとに、求められている学力や菊川市の子ども達の課題を明確にして授業改善に取り組む。	ア 学校訪問による授業改善支援 イ ICT活用実践研究指定 ウ 各種研修会の開催 エ 全国学力学習状況調査の分析、学力向上対策委員会
	(2) 英語力の向上	小中学校における外国語によるコミュニケーション能力向上と、教員の指導力向上を図る。また、授業以外でも、小学校段階から英語に触れる機会を増やし、菊川を訪れる人に英語でおもてなしできる人材を育成する。	ア 英語指導助手、英語支援講師の配置 イ 外国語活動教員研修の開催 ウ 土曜日を活用した小中学生英語講座の実施
	(3) 情報教育の推進	情報教育機器を効果的に活用し、一人一人に「確かな学力」をつけるため、主体的・対話的で深い学びのある「きくがわ21世紀型授業」づくりを推進する。	ア 校務のIT化の推進 イ 菊川市情報教育モデルカリキュラムの活用 ウ 情報推進委員会の開催

施策(大分類)	施策(中分類)	施策の目的	事務・事業
③ 思いやりに満ちた学校づくり	(1) いじめのない学校経営	思いやりに満ちた学校づくりを進めるために、人権教育や福祉教育の実践を進め、いじめのない学校経営を推進する。	ア 学校いじめ防止基本方針に沿った対応 イ 月例報告 ウ 人権教育、福祉教育の実践

基本方針	～市民一人ひとりの豊かな個性や創造力を伸ばす～
重点施策	2「確かな学力と思いやりに満ちた学校」づくり【学校教育】

実績評価(施策評価)	評価	今後の取り組み課題又は改善点
すべての小中学校に学級学校支援員を配置し、各校のニーズに応じた支援を行った。 適切な就学支援を行うために、学校・園訪問等をして園児児童生徒の状況を把握し、保護者に情報提供したり相談に応じた。また、園児については保護者・園担任等との支援学級見学に同行し、情報共有に努めた。	A	保護者や園との早期からの連携や情報共有に努め、特別支援に対する理解をこれまで以上に進めた上で就学支援に取り組む必要がある。

外国人担当者の研修会を予定通り実施し、担当者の資質向上が図られた。 支援が必要な外国籍児童生徒に対し、各学校への支援員の配置や「虹の架け橋」入級により学校生活に適応しやすい環境づくりが図られた。「学校が楽しい」と答えた児童92%。生徒92%。	A	日本語指導の支援が必要な外国籍児童生徒に対し、引き続き支援を行う。フィリピン国籍児童生徒の増加傾向や外国籍児童生徒が急増している学校があるので、配置の見直し等、今後も実態に即した対応を進める。
--	---	--

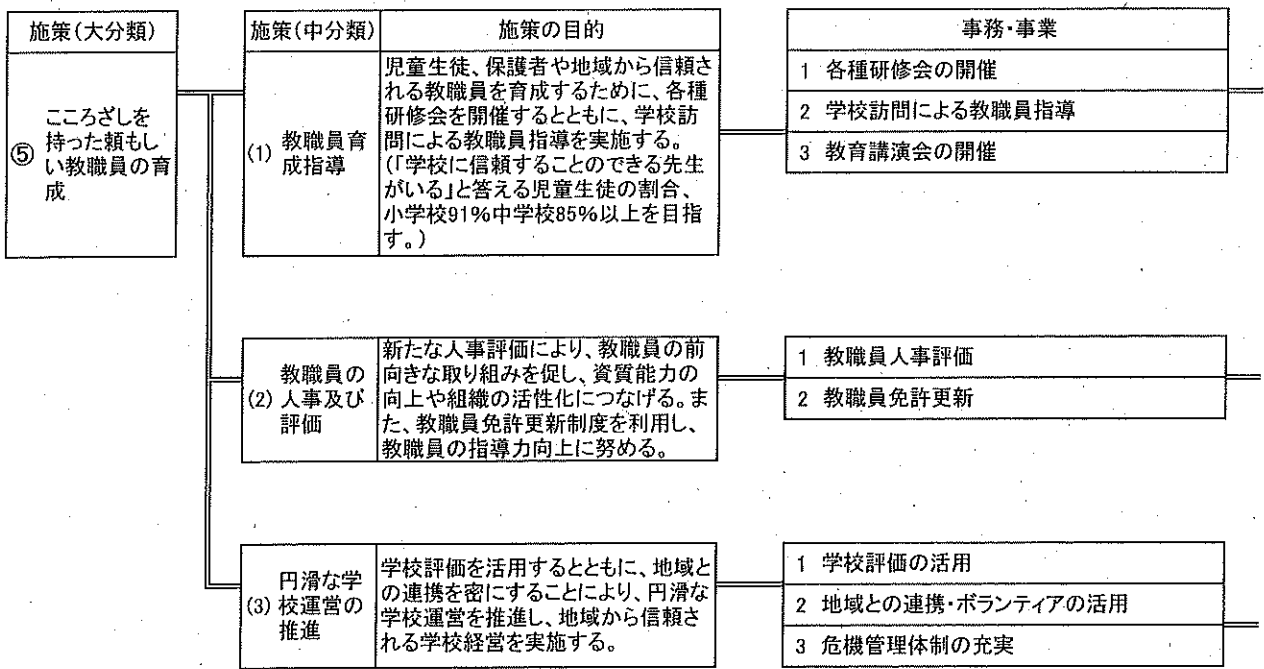
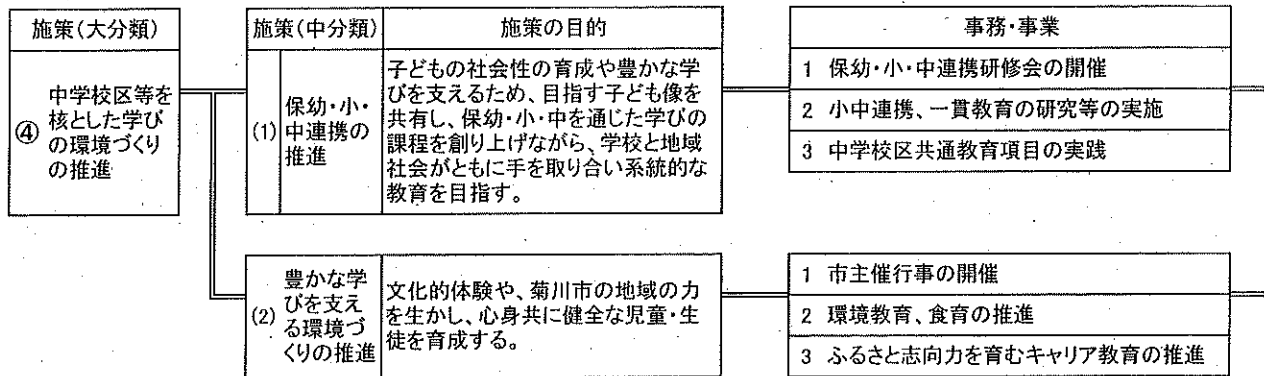
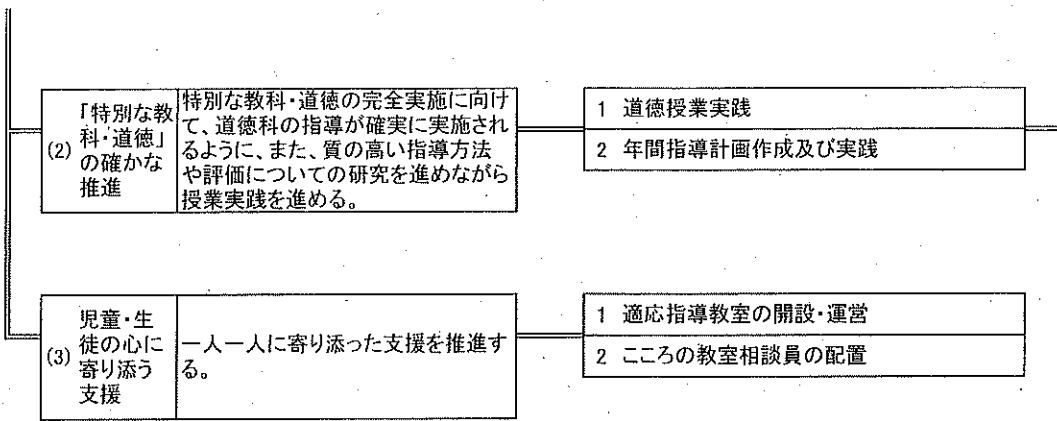
学校の危機管理体制の整備として、全校で避難訓練及び情報伝達訓練を実施した。また、児童生徒の安全意識の向上のための交通安全教室や街頭指導、防犯教室を実施し安心して学校に通える環境づくりを進めた。通学路安全対策検討委員会を開催し、教育委員会と警察、道路管理者等で市内全体の安全対策を検討し対策を実施した。	A	学校で実施している避難訓練が、より実践的なものになるよう引き続き工夫していく。原子力災害における対応についても学校マニュアルを整備していく。
--	---	--

実績評価(施策評価)	評価	今後の取り組み課題又は改善点
「授業が分かる」と答える児童生徒の割合は、小学校90.3%・中学校86.2%であり、授業でICTを活用して指導できると答える教員は、県平均を大きく上回り、情報機器の活用が進んでいる。 上記のような数値結果は、学校訪問による指導及び研修会の成果といえる。	B	平成29年・30年度と市内の小中学校で研究指定発表を行った。これらの研究成果や令和元年度研究指定発表校である横地小学校・六郷小学校の取組を参考にし、効果的な活用について全校に広めてく必要がある。

ALTや英語支援講師と研修を通じての話し合いにより、授業でのよりよい支援につなげることができた。また、土曜英語では、小学生の英検5級の合格者は64%となった。講座の振り返りを行うことで、講座の内容や指導方法を改善することができた。	B	平成32年には小学校での英語が完全実施になる。スムーズに完全実施へつなげられるよう、時間数等検討していく。
---	---	---

情報教育モデルカリキュラム、ICT活用例等を参考にして、情報教育機器を授業で積極的に活用することができた。また、各校ICT推進委員が中心となって、タブレット型端末を活用した効果的な授業の在り方についての研修を深めることができた。	B	子どもたちが情報活用能力を身に付ける。情報教育機器を効果的に活用し、一人一人に「確かな学力」をつけるため、主体的・対話的で深い学びのある「きくがわ21世紀型授業」づくりを推進する。
--	---	--

実績評価(施策評価)	評価	今後の取り組み課題又は改善点
全職員が不登校やいじめ等生徒指導問題に対して、未然防止、早期発見、早期対応を心がけて取り組んだ結果、各校、落ち着いた状況を保っている。	A	増加傾向にある不登校、発達に関する問題等、さらにきめ細やかに子ども一人一人に寄り添い、個に応じた指導や支援、組織的な対応を必要とする事案が増えている。



<p>道徳教育の計画を見直すことで、教科である道徳への理解が深まった。沢山の実践を積み重ねてはいるが、道徳的価値に迫るのにはもう少し実践を積み重ね、研修を深める必要がある。</p>	B	<p>令和2年度には中学校での教科化が始まる。小学校での実践を積み重ね、中学校への学習に生かす。</p>
--	---	--

<p>適応指導教室においては、相談児童生徒20人のうち、11人が解決、もしくは解決の方向性を見つけることができた。また、不登校が解消した事例も2件あり、児童・生徒・保護者にとって、「心がほっとする、心の居場所」となっている。</p>	A	<p>今後、適応指導教室相談員と心の教室相談員との連携体制を強化し、さらにきめ細やかな指導・支援につなげる。</p>
--	---	--

実績評価(施策評価)	評価	今後の取り組み課題又は改善点
<p>事業実績のとおり、菊川市小中一貫教育の考え方～「学びの庭」構想～を策定するに至った。令和元年度より岳洋中学校区をモデル地区に指定し、地域全体を「誰もが どこでも いつでも 学べる場」であり「子どもも大人も学び合い育ち合う場」としていくことを目指す「学びの庭」構想を推進する。</p>	A	<p>学校と地域間における連携の核となる「学舎運営協議会」を設置する。まずは岳洋中学校区において「岳洋学舎運営協議会」を設置・開催することとなるが、菊川市において初めての取り組みとなるため、参加いただく委員の方々に対していかに理解を図っておくことができるかが大事な点である。</p>

<p>行事や研修を計画的に行うことができ、児童生徒をとりまく環境を整備することができた。様々な体験活動を通し、豊かな感性を培うとともに、自分の住む地域についても考えることができた。</p>	A	<p>企業説明会がさらに充実するよう、地域の企業・団体との協力をさらに深めていく。</p>
--	---	---

実績評価(施策評価)	評価	今後の取り組み課題又は改善点
<p>各種研修会の実施や学校訪問指導により、教職員の資質を高めるとともに、信頼される学校づくりができた。（「学校に信頼することのできる先生がいる」と答える児童生徒の割合は、小学校92.8%（前年比+0.5）、中学校86.3%（前年比+3.5%）であり、小中学校ともに上昇し、目標値を上回る事ができた。</p>	A	<p>学び続ける教員研修会について、専門性を高めることができたことと好評であった。来年度も継続していく。</p>

<p>教職員人事評価に対し、全校で前向きな評価が実施された。また、教職員免許更新についても、対象である第9グループ14人の更新がすべて終了した。これらの事業により、教職員の資質能力を向上させることができた。</p>	B	<p>令和元年度は、新免許状所有者の更新とともに、旧免許状所有者の2回目の更新が始まる。失効を防ぐことはもちろん、市独自の確認表を作成する等により、確かな免許更新を実施する。</p>
---	---	---

<p>円滑な学校運営推進のために、教職員育成指導や人事評価等を確実に実施した。その結果、「学校に信頼することのできる先生がいる」と答える児童生徒の割合が、小学校92.8%（前年比+0.5）、中学校86.3%（前年比+3.5%）となった。</p>	B	<p>市教育委員会のフォーマットをもとに、各校の地震に係る学校防災マニュアルを充実させる。</p>
--	---	---

施策の体系

担当課	教育総務課
-----	-------

基本目標	「豊かなこころを育むまち」
------	---------------

施策(大分類)	施策(中分類)	施策の目的	事務・事業
⑥ 学校施設の適正な維持管理・耐震化・長寿命化	(1) 学校施設の適正な維持管理	小・中学校の教育活動が、支障なく行われるよう学校教育環境の計画的な整備を実施する。また、学校環境を良好な状態に保つため、施設や設備の適切な維持管理を実施する。	ア 学校施設の維持管理 イ 学校設備の維持管理 ウ 県費補助・市単独事業の実施

(2) 学校施設の耐震化	耐震力がやや不足している小笠北小学校並びに内田小学校の校舎の耐震補強・大規模改修を実施する。	ア 国庫補助事業(耐震補強)の実施(小笠北小・内田小)
--------------	--	-----------------------------

(3) 学校施設の長寿命化	学校教育環境の改善を図るため、小笠北小学校並びに内田小学校の校舎の地震補強・大規模改修を実施する。	ア 国庫補助事業(大規模改修:トイレ改修)の実施(小笠北小) イ 国庫補助事業(大規模改修:トイレ改修)の実施(内田小)
---------------	---	---

施策(大分類)	施策(中分類)	施策の目的	事務・事業
⑦ 安全で安心して教育が受けられる環境づくり	(1) 教室環境の整備	児童生徒が健やかに伸びていく学校環境の充実に向け、教育課程に基いた授業等に必要な教材・教具等を効率的に購入する。	ア 一般備品の整備 イ 教育用情報端末の整備

(2) 家庭への支援	学校教育の機会均等の精神に基づき、経済的理由等により就学が困難な家庭に対し必要な援助を図る。	ア 就学支援事業の実施 イ 特別支援教育就学奨励事業の実施 ウ 小学校遠距離通学費補助事業の実施
------------	--	--

施策(大分類)	施策(中分類)	施策の目的	事務・事業
⑧ 安全でおいしい給食を安定的に提供	(1) 安心・安全なおいしい給食作りの実施	学校給食における衛生管理体制を徹底し、児童生徒に安心安全なおいしい給食を提供する。	ア 給食献立作り及び使用食材の発注 イ 食物アレルギーへの対応 ウ 調理業務等の民間委託による安定した調理業務の実施

(2) 食育及び地産地消の推進	学校給食を通じて成長期にある児童生徒が、望ましい食生活の形成や好ましい人間関係の育成が図られることを目的に、食育推進事業を進めていく。また、安心安全で新鮮な食材となる地場産品の給食への使用拡大を図り、食育推進に繋げていく。	ア 栄養士による食育指導の実施 イ ふるさと給食週間等の実施による地産地消の推進 ウ 地産地消推進会議の開催
-----------------	---	--

(3) 安定した給食業務の実施	安心安全な学校給食作りを推進するために、安定した給食業務(給食食数の管理、給食会計、施設の維持管理等)の実施を図る。	ア 給食食数管理及び給食会計処理の実施 イ 給食センター施設の維持管理の実施 ウ 給食関係会議の開催
-----------------	--	--

基本方針	～市民一人ひとりの豊かな個性や創造力を伸ばす～
重点施策	2「確かな学力と思いやりに満ちた学校」づくり【学校教育】

実績評価(施策評価)	評価	今後の取り組み課題又は改善点
計画的かつ効率的な発注を実施、児童・生徒の安全を最優先に事業実施できた。また、県費補助を活用し経年劣化したガラス飛散防止フィルムの張替えを実施し、施設・設備の健全が図られた。	A	施設・設備の老朽化が全般的に進んでいる。高額な修繕対応する件数が多くなってきており、予防的修繕を検討し経費の縮減を図っていく必要がある。

小笠北小学校並びに内田小学校の耐震補強、大規模改修を実施したことにより校舎の健全化が図られ児童の安全が確保された。	A	市内小中学校の校舎は、耐震力のやや劣る校舎が確認されているため、引き続き耐震補強事業を実施し耐震力の向上に取り組む必要がある。
---	---	---

小笠北小学校並びに内田小学校の大規模改修を実施したことにより、トイレの洋式化・照明施設のLED化により校内の快適性が向上した。	A	市内の小中学校の施設は、経年劣化による老朽が著しいほか和式トイレの未改修など未改修の施設が数多いため、引き続き大規模改修に取り組んでいく必要がある。
---	---	--

実績評価(施策評価)	評価	今後の取り組み課題又は改善点
今年度から教材用備品購入予算を学校教育課へ移管した。学校用備品については、適切な時期に計画的に購入できた。無線LANの整備が完了し、市内の小中学校において端末機器の有効利用やICT教育の促進が図られた。	A	今後の授業内容や授業形態の変化への対応が求められる。また、サーバー等のPC周辺機器における有り方を検討する必要があると考える。

就学援助費については、平成29年度の実績と比較し、支給額500千円減、支給対象者19名の減となった。就学奨励費については、平成29年度の実績と比較し、支給額では110千円減、支給対象者は7名減となった。本来、保護者の経済状況に関係なく、同じ環境で、同じ教育が保障されなければならないことから援助費及び奨励費により、保護者の負担軽減が図られ一定の成果があった。	A	就学援助費及び就学奨励費については、若干の減少となったが、依然として経済状況は好転していないことから今後も経済の状況に左右されると考えられる。今後も周知方法や支給方法について検討していく。
---	---	--

実績評価(施策評価)	評価	今後の取り組み課題又は改善点
安心安全な給食を提供するため、衛生面に十分配慮した管理を行うことができた。また、センター独自の衛生講習会を開催する等、職員全体の意識向上に努めることができた。 毎月開催する献立会議や週1回の委託先との調理打合せ会を実施し、おいしい給食作りはもとより、新たなメニューの考案・提供等にも努め、残食率3%を切ることができた。	A	引き続き安心安全な給食を提供するため、委託先との密接な連携のもと、安全な物資の調達、衛生管理の徹底を図り、職員全員が同じ意識を持ち進めていく。また、児童生徒が栄養バランスの正しい知識を身に付けられるよう、全学校への訪問による食育の推進を図りながら、おいしい給食づくりに努めていく。

「食に関する指導全体計画」を基本として、小中学校等と連携を取り合いながら、栄養士による食育指導を進めることができた。 「ふるさと給食週間」等においては、引き続き市内農業生産法人の協力で格安のトマトを購入し、ピューレとして製品化、ミートソースやソースなどで提供し、地産地消推進の拡大に繋げることができた。また、地産地のキャベツとチンゲン菜は、年間を通じて給食で使用することができた。 さらに、生産者等と児童が交流する事業を開催し、地産地消の推進と合わせて食育の推進を図ることもできた。	B	今後も地産地消推進会議を開催し、給食への地場産品使用拡大について意見交換を行う。 また、市内農産物を活用した新たな食材の製品化を検討し、地産地消の推進に役立てていくことも必要である。
---	---	--

安定した給食業務を実施するため、各小中学校と連携を取りながら給食事務・給食会計処理等を進めてきた。現年度の徴収率については、学校との連携や児童手当の活用により前年度より0.02%上昇し、99.97%となった。 また、厨房施設の維持管理を適切に実施し、事故やトラブルなく給食作りを行うことができたが、台風24号による広域停電の為、10/2(火)～10/4(木)までの3日間給食を休止した。 さらに、給食運営に必要な会議を計画どおり開催し、給食だより等についても計画どおり発送することができた。	A	給食費完全納付に向けて、給食センターと学校等との連携をさらに強化し、家庭環境などの情報を共有化して、未納対策に取り組む必要がある。
---	---	---

施策体系と評価

担当課

社会教育課（社会教育）

基本目標	「豊かなこころを育むまち」
------	---------------

施策(大分類)	施策(中分類)	施策の目的	事務・事業
① 地域で子どもを守り育てる取り組み	(1) 住民主導による子どもを育む組織づくり	青少年の健全育成や非行等の問題行動防止に向け、支部の青少年健全育成会活動を通じて、家庭、学校、地域住民など、地域社会と行政(関係機関)がそれぞれの役割と責任を担いつつ相互に協力し、「地域の青少年は地域で安全に守り育てる」を柱とした健全育成事業を推進する。	ア 青少年健全育成市民会議支部活動の推進 イ 街頭生活指導の実施
	(2) 豊かな人権感覚を育む教育・啓発の推進	人権問題を市民一人ひとりが正しく理解するために、家庭・学校・地域社会が連携を深め、明るくい人づくり、地域づくりの推進を図る。	ア 親子映画教室の開催 イ 人権週間行事
	(3) 豊かな感性と社会性を育むボランティア活動の推進	児童・生徒にボランティア活動や社会参加活動への参加を促し、広く社会で活動することを通し社会性や思いやりの心を育て、健やかな青少年の育成を支援する。	ア ボランティア体験活動の推進 イ ボランティア活動支援センターの設置 ウ 活動級別認定の実施及び表彰 エ 活動リーフレットの作成 オ ボランティア担当者会の実施 カ ボランティア講座の実施
	(4) 豊かな感性と社会性を育む体験活動の推進	次世代を担う子どもたちが、豊かな人間性とたくましさを備えるため、文化的・科学的な興味や関心を掘り起こし、体験や規律ある集団生活を通して人格形成を成すよう事業を推進する。	ア 安全安心ひとづくり市民大会の共同開催 イ 成人式の開催 ウ どきどきフェスティバルの開催 エ 小谷村スキー体験教室の開催
	(5) リーダー育成・交流事業の推進	次世代を担う青少年の健全育成、交流及び文化振興を図るため、地域の青少年活動や国、県の主催する事業への参加を通して、コミュニケーションを図り、明るく平和で住みよい郷土作りを目指す。	ア 青少年関係団体への助成、子ども会活動の支援 イ 通学合宿推進事業の支援

施策(大分類)	施策(中分類)	施策の目的	事務・事業
② 家庭の教育力向上	(1) 放課後子どもプランの推進	放課後子ども教室は、地域の方々の参画を得て、児童とともに勉強やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動等の取組を実施することにより、児童が地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進するものである。 また、類似事業である放課後児童クラブとの連携を図り、総合的なあり方の検討を行い、よりよい環境づくりを推進する。	ア 放課後子ども教室の実施 イ 放課後子ども教室と放課後児童クラブとの連携
	(2) 家庭教育の推進	保護者が「子育て」や「しつけ」について学び、保護者同士が悩みを話し合い、子どもの健全な身体と人格の発達を助長するために家庭教育のあり方を学ぶ。	ア 家庭教育学級の開設委託 イ 家庭教育支援員の派遣・推薦
	(3) 地域と学校の連携	地域本部事業は、地域全体で学校教育を支援する体制づくりを推進することにより、教員及び地域の大人が子どもと向き合う時間の増加、住民等の学習成果を子育てに活かす場の拡充及び地域の教育力の活性化を図る。	ア 学校支援地域本部の設置 イ 小・中学校との連携 ウ 中学生ふるさと未来塾の実施

基本方針	～市民一人ひとりの豊かな個性や創造力を伸ばす～
重点施策	3 市民一人ひとりが心豊かで充実した人生を送ることができる社会の実現【社会教育】

実績評価(施策評価)	評価	今後の取り組み課題又は改善点
<p>青少年健全育成市民会議常任委員会の開催、7月の駅前キャンペーンや夏冬季の街頭生活指導を実施した。また西部ブロック管内や県内の市町補導センターとの連絡協議会に出席し、他市の状況や対策を確認した。</p> <p>青少年健全育成支部長会を年3回実施し、各地区の活動報告や意見交換を行い、活動内容等をワンペーパーにとりまとめ会議資料として配布した。</p>	A	<p>青少年健全育成のためには、家庭、学校、地域、警察等の関連機関との連携を図ることが必要である。</p> <p>引き続き街頭指導や声掛け運動、青少年健全育成会支部活動等を通し青少年健全育成事業を推進していく。</p>
<p>親子で良質な映画(人権関係映画含む)を觀賞することにより、子どもたちに思いやりの心の大切さを感じてもらうとともに、親子の間に共通の話題を提供でき、対話を深めることができた。</p>	B	<p>人権教育は庁内各課(市民課、福祉課)等と協力連携し、今後も啓発に努める。</p>
<p>人数は過去2年年度と比較すると、登録人数は減少した反面、活動数は増加している。活動状況は、積極的にボランティアクラブへ登録するものの、受け入れ施設側の日程と希望される児童・生徒の日程が合わなかったことから登録者の活動率は40%代にとどまっている。</p>	B	<p>小中高校側と受入施設側との連絡調整の方法を検討し、ボランティア参加者の増加に向けた広報を行う。また、社会福祉協議会や長寿介護課、市民協働センター等様々な部署でボランティア事業を実施しており、住み分けや協働に向けた打ち合わせを実施していく。</p>
<p>地域支援課と社会教育課との共同による「菊川市安全安心ひとづくり市民大会」において、青少年健全育成に尽くした団体の表彰及び菊川市ボランティア級認定者の表彰を行うとともにテレビ寺子屋公開録画により教育に関する講演を実施し、地域と一体となった青少年健全育成活動に取り組んだ。</p> <p>成人式では、しおりにお祝いクーポンつきの企業広告を継続して掲載するなど、企業のPRと新成人に市内企業を知ってもらう機会を作った。</p>	B	<p>成人式では、滞りなく式が挙行できるように引き続き万全な管理体制を検討していく。安全安心ひとづくり市民大会は、地域支援課と共同で安定した集客となるよう広報を行うことや講演の内容を検討していく。</p> <p>小谷村スキー体験教室では、開始以来初めて雪不足により中止となった。今後も開催前には現地の状況をしっかり情報収集し、万全の準備をしていく。</p>
<p>青少年活動団体への支援、通学合宿事業への支援などの事業をとおして、さまざまな体験や交流、情報交換を行ない、次世代を担う青少年の育成の推進が図られた。</p>	B	<p>通学合宿事業は、異年齢集団で共同生活をし、その中でさまざまな体験活動を行う事業であり、今後も引き続き地域の教育力の向上、子育て支援の充実を図る。</p>
<p>市内9校で子ども教室を継続的に実施することができた。放課後子どもプランの推進について、福祉課策定の「子ども・子育て支援事業計画」の目標値達成に向け事業を実施しており、数値目標である『市内全9校での放課後子ども教室実施』を達成した。</p>	A	<p>早期に開設した教室ではコーディネーター等の高齢化が進んでいる小学校もある。高齢者が現役世代並みに働くようになった昨今の世情のなかで、新たなボランティアをどのよう確保していくかが課題となっている。</p>
<p>家庭教育学級事業については、1,533名の学級生が参加し、家庭教育にかかる意識の向上を図れた。</p>	B	<p>家庭教育支援員の活動回数が少ないことから、平成31年度以降は巡回計画を立て、支援員を活用した講座が広がるよう取り組んでいく。</p>
<p>継続して各学校へのボランティア活用の呼びかけや事業内容を周知し、活動機会の充実を図る。</p>	B	<p>学校支援ボランティアに登録をいただいた方に1回は活動に参加できるように活動の調整及び学校への周知を行う。中学生ふるさと未来塾では、地域住民が関心をもち参画いただくことや、学校側も積極的に受け入れる体制を取ることで、学校、家庭、地域との連携強化を推進することが必要と考える。</p>

施策体系と評価

担当課

社会教育課（生涯学習）

基本目標	「豊かなこころを育むまち」
------	---------------

施策(大分類)	施策(中分類)	施策の目的	事務・事業
③ 生涯学習活動の推進	(1) 生涯学習活動の推進	生涯学習のまちづくりを実現するために、学習の機会を提供し市民の生涯学習を奨励援助する。また、地域での生涯学習活動を推進するため、情報提供を行う。	ア 生涯学習だよりの作成・発行 イ 自主講座団体の登録申請・施設利用受付 ウ 生涯学習推進員研修会の開催
	(2) 各種講座の開催	生活に潤いを与える趣味の講座や、社会問題について視野を広めると共にコミュニケーション能力を高め、豊かな感性と人間性を養うことを目的とします。市内全員を対象とした生涯学習講座を開講し、仲間と共に楽しく学習し、生きがいをもって生活をおくることができる、学習の場を提供します。	ア ステップアップ講座の開催 イ こどぶき講座の開催

基本方針	～市民一人ひとりの豊かな個性や創造力を伸ばす～
重点施策	3 市民一人ひとりが心豊かで充実した人生を送ることができる社会の実現【社会教育】

実績評価(施策評価)	評価	今後の取り組み課題又は改善点
「生涯学習だより」の紙面に講座写真を掲載するなど、内容がわかりやすいレイアウトとした。 また、市内施設等へ配布し、周知の機会が多く得られた。	B	引き続き、わかりやすい紙面作りを心がけ、さらなる周知の機会を検討する。

生涯学習だよりに講座写真を掲載するなど、わかりやすいものとした。郵便局や市内企業等へ配布し、ステップアップ講座やことぶき講座の情報提供を行い周知に努めた。 各講座とも出席率が高く、一生続く趣味作りや参加者同士の交流を深め、生活に潤いと教養を高める生涯学習の機会を提供することができた。	B	各種講座選定の参考とするため受講生アンケートを実施し、数年単位で講座を入れ替えるように図る。 託児希望者が少なく、託児業務委託は前年度に続き未実施であった。 H31年度分のステップアップ講座の募集は、チラシ配布から応募締め切りまでの期間を10日程度伸ばすことで応募数の増加に期待する。
---	---	--

施策体系と評価

担当課

社会教育課（社会教育）

基本目標	「豊かなこころを育むまち」
------	---------------

施策(大分類)	施策(中分類)	施策の目的	事務・事業
④ 鑑賞機会の提供	アエル指定 (1) 管理者との連携	アエル指定管理者との連携により、民間のノウハウを活用し、更なる文化振興を図る	ア 委託事業の開催 イ 月次、四半期、年度の報告会の開催 ウ 文化会館アエル運営委員会の開催
	アエルの計画的な施設の改修 (2)	アエル建設後25年が経過し、随所に経年劣化が著しく、管理運営に支障がきたす恐れがあるため、修繕を実施する。	ア 大・小ホールの特天天井改修工事
	中央公民館 (3) の管理・運営	市民の生涯学習推進のために実際生活に即する教育、学術及び文化に関する事業を行い、もって市民の教養の向上、健康の増進及び情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的とする。	ア 公民館施設の維持管理 イ 公民館運営審議会の開催 ウ 公民館施設の貸出

施策(大分類)	施策(中分類)	施策の目的	事務・事業
⑤ 市民の文化・芸術活動への支援	(1) 文化協会との連携	生涯学習として広く芸術文化に親しむために、文化事業を文化協会に委託し開催する。	ア 文化祭、美術展、写生大会、書き初め展の開催委託
	(2) 文芸誌編集・刊行	文化向上と郷土愛の増進を目指し、表現活動の奨励、普及の場として作品を募集し、「文芸誌」を編集することを目的とする。	ア 文苑きくがわ編集委員会の開催 イ 文芸誌「文苑きくがわ」の編集・刊行

基本方針	～市民一人ひとりの豊かな個性や創造力を伸ばす～
重点施策	3 市民一人ひとりが心豊かで充実した人生を送ることができる社会の実現【社会教育】

実績評価(施策評価)	評価	今後の取り組み課題又は改善点
指定管理者と定期的に報告会を開催し意見交換や連携に努めた。その結果、新企画、意欲的な企画を行うことができ、多世代に幅広くイベントを体感していただいた。	A	施設や立地等の資源を活用し、予算内で最大限の成果が発揮できるよう情報発信等に努め、指定管理者と協働で事業に取り組んでいく必要がある。 指定管理者と連携し入場者数の向上を目指すとともに、他団体との共同開催等に努めていく。

予定どおりの改修、更新、修繕が実施できた。また指定管理者と緊密に連絡を取り、施設の安全管理に努めることができた。	A	建設後26年が経過し、随所に劣化が見受けられる。引き続き改修工事を実施するための実施設計や、工事工程に合せ使用制限の調整を計画的に進めていく。
--	---	---

保守点検や清掃業務委託などを実施し、良好な状態を保つことができた。また、緊急を有する修繕に対応できた。	A	利用者に安全で気持ち良く利用できるよう努めた。引き続き、館内設備の点検を行い、必要に応じて修繕計画の検討を進めていく。
---	---	---

実績評価(施策評価)	評価	今後の取り組み課題又は改善点
文化協会へ事業委託し芸術文化事業の振興を図るとともに、文化協会を支援し、市民文化・芸術活動の推進を図ることができた。	A	今後も文化協会加盟団体と連携し、各委託事業を円滑に実施する。

投稿された作品を、文芸誌として発刊することにより、投稿者の作品作成意欲の増進を促すことができた。 今号も各分野の作品を収めることができ、特に随筆作品への投稿が増えた。	B	文芸誌の広報を継続していくことにより、投稿者の増加、販売部数の増加を目指す。
--	---	--

施策体系と評価

担当課

社会教育課 (社会教育・文化振興)

基本目標	「豊かなこころを育むまち」
------	---------------

施策(大分類)	施策(中分類)	施策の目的	事務・事業
⑥ 文化財の保存・周知・活用の推進	(1) 文化財の保護	市内にある指定文化財の維持管理を行うことにより、郷土の貴重な文化財を保護活用していく。	ア 文化財保護審議会の開催 イ 国指定文化財等の維持管理及び整備 ウ 文化財防火訓練の実施
	(2) 文化・顕彰活動支援	菊川市に残る地域の文化財を保護するために、文化財の保護や継承を行っている団体に対して指導・支援を行う。	ア 指定無形民俗文化財の伝承及び活用に対する補助 イ 地域文化財活動団体への支援 ウ 芸術文化大会等への出場者(団体)支援 エ 関口隆吉氏顕彰事業
	(3) 文化財の活用	発掘調査等により出土した資料の展示や資料館等の収蔵品の展示を行うことにより、文化財の活用を図る。	ア 黒田家代官屋敷資料館の運営 イ 街道画の展示・活用 ウ 埋蔵文化財の展示・活用 エ 埋蔵文化財センターの運営・管理 オ 塩の道公園の管理及び再整備 カ 史跡菊川城館遺跡群整備委員会の開催 キ 史跡菊川城館遺跡群整備構想事前調査の実施(委託)
	(4) 周知の遺跡の管理	市内の周知の遺跡を適切に管理保護することにより、開発などから埋蔵文化財を保護し、次世代に歴史遺産を継承する。	ア 周知の埋蔵文化財包蔵地の新規登録、範囲変更及び調査履歴等の更新
	(5) 開発に伴う文化財の保護	市内の周知の遺跡を適切に管理保護することにより、開発などから埋蔵文化財を保護し、次世代に歴史遺産を継承する。	ア 各種開発による試掘・確認調査の実施 イ 発掘調査の実施
	(6) 文化振興計画の推進	菊川市文化振興計画の重点的取り組みである、「情報発信力の向上」「菊川アーカイブづくり」を進め、本市の文化振興を図ります。	ア 文化振興計画の推進及び検証 イ 文化振興計画推進委員会の開催

基本方針	～市民一人ひとりの豊かな個性や創造力を伸ばす～
重点施策	3 市民一人ひとりが心豊かで充実した人生を送ることができる社会の実現【社会教育】

実績評価(施策評価)	評価	今後の取り組み課題又は改善点
指定文化財の適切な維持管理が図られ、所有者、保存会等の協力により文化財の保護活用を図ることができた。	B	市民に周知するとともに文化財をめぐるウォーキングなどを実施し、普及公開に努める。

文化財保護団体や資料館管理者へ支援することにより、菊川市に伝わる地域の文化財の保護や継承、活用を推進した。	B	無形民俗文化財の記録保存、公開に対して、保存団体の意向や事業計画を照会し、長期的な計画を策定する。民俗資料(民具)等の収蔵品について、各資料館における現状を把握する。
---	---	---

埋蔵文化財の展示・活用については、中央公民館展示室で「菊川市南部の古墳と横穴墓」、「菊川市出土の古代の文字」、「菊川市出土の中世の銅銭と流通品」と題して、年間3回の特別展示及びギャラリートークを開催し、市内外からおよそ600人が訪れ文化財の普及、公開が図れた。また、新たに「どきどきクイズスタンプラリー」、「どきどきストーリーツアー横地城跡2019」、「ワークショップ(銭ゲミ)」を企画し、市内外併せて91人の方が参加し文化財に触れ合う機会や交流を図ることができた。例年開催しているどきどきフェスティバル、黒田家住宅の梅まつりを通じて、歴史や埋蔵文化財の周知に努めることができた。 街道画の展示・活用については、菊川文庫の展示室で「横須賀街道、田沼街道」、「川根街道」の展示を年2回開催し、市内外の方およそ300人が訪れ広く周知を図ることができた。	A	埋蔵文化財センターどきどき及び中央公民館の展示室で、引き続き埋蔵文化財の普及活用のため特別展示及びギャラリートーク(展示解説)を行い、文化財の普及活用に努める。また、広報紙「どきどき通信」の発行や「どきどきメール」の発信により、文化財に係る情報提供に努める。 旧跡や名所を巡る文化財ウォーキングを検討する。
---	---	--

試掘・確認調査の結果に基づき、市内遺跡の埋蔵文化財包蔵地の調査履歴を更新した。開発に伴う本発掘調査を実施し、記録保存による文化財保護に努めた。	A	開発者への埋蔵文化財包蔵地の周知が不十分である。講習会等を計画し、文化財保護法の届出の提出への理解を求める必要がある。
---	---	---

開発等に伴う、試掘・確認調査を実施するとともに、記録保存として埋蔵文化財発掘調査を1カ所実施した。本発掘調査の成果を「どきどき通信」に紹介するとともに地元自治会に調査成果を回覧した。文化財年報を刊行し、市内の文化財に係る情報を市内外に発信し広く周知することができた。	A	発掘調査の整理作業を進め、「下田遺跡」及び過年度に実施した市内遺跡の発掘調査報告書の刊行を順次進める。
---	---	---

文化振興計画の後期5カ年の平成29年度事業の点検、評価を実施するため、文化振興計画推進委員会を2回開催するとともに平成29年度事業点検表を作成し、定例教育委員会へ報告をした。施策体系図により施策を細分化して点検表を作成し、事業を推進することができた。	B	後期事業実施計画に基づき、平成33年度までの文化振興計画を着実に取り組んでいく。
---	---	--

施策体系と評価

担当課

社会教育課(スポーツ振興)

基本目標	「豊かなこころを育むまち」
------	---------------

施策(大分類)	施策(中分類)	施策の目的	事務・事業
⑦ 誰もがスポーツに触れあう機会の創出	(1) 生涯スポーツの推進	いつでも、どこでも、だれでも取り組める運動やライフステージに応じたスポーツを推奨し、運動する人を増やし、市民の運動習慣の実施率を高めます。また、レクリエーションスポーツの普及活動を支援し、スポーツを通じた地域づくりを進めます。	ア スポーツ教室の開催 イ スポーツイベントの開催 ウ 体育用備品の貸出及び管理
	市主催スポーツ大会の開催	いつでも、どこでも、だれでも取り組める運動やライフステージに応じたスポーツを推奨し、運動する人を増やし、市民の運動習慣の実施率を高めます。また、レクリエーションスポーツの普及活動を支援し、スポーツを通じた地域づくりを進めます。	ア 陸上競技選手権大会の開催 イ シニアゲートボール大会の開催 ウ 市民健康駅伝競走大会の開催 エ ビーチボール交流会の開催 オ ペタボード交流会の開催

施策(大分類)	施策(中分類)	施策の目的	事務・事業
⑧ スポーツ団体・スポーツ活動への支援	(1) 進委員の充実	NPO法人菊川市体育協会やスポーツ推進委員などと連携し、スポーツ事業を開催します。また、体育協会に所属するスポーツ団体やスポーツ少年団などに加え、任意のスポーツ団体など多数のスポーツグループに対する活動支援を行います。	ア 定例会の開催 イ 市主催スポーツ大会等の主管・運営 ウ 実技研修会の開催 エ スポーツ推進委員活動の情報発信 オ 各地区のスポーツ活動の推進 カ 委員の資質向上
	(2) スポーツ委員の充実	NPO法人菊川市体育協会やスポーツ推進委員などと連携し、スポーツ事業を開催します。また、体育協会に所属するスポーツ団体やスポーツ少年団などに加え、任意のスポーツ団体など多数のスポーツグループに対する活動支援を行います。	ア 研修会の開催 イ 各地区のスポーツ活動の推進
	(3) 市体育協会の育成強化	NPO法人菊川市体育協会やスポーツ推進委員などと連携し、スポーツ事業を開催します。また、体育協会に所属するスポーツ団体やスポーツ少年団などに加え、任意のスポーツ団体など多数のスポーツグループに対する活動支援を行います。	ア 菊川市体育協会の自立、支援、連携 イ 菊川市体育協会への事業委託
	(4) ツ団体等の育成・強化	NPO法人菊川市体育協会やスポーツ推進委員などと連携し、スポーツ事業を開催します。また、体育協会に所属するスポーツ団体やスポーツ少年団などに加え、任意のスポーツ団体など多数のスポーツグループに対する活動支援を行います。	ア 菊川市体育協会の加盟団体の活動支援 イ スポーツ少年団の活動支援 ウ しずおか市町対抗駅伝 エ 全国大会への出場者(団体)支援 オ スポーツ少年団交流大会の開催
	(5) 総合型地域スポーツクラブ「アプロス菊川」の支援	NPO法人菊川市体育協会やスポーツ推進委員などと連携し、スポーツ事業を開催します。また、体育協会に所属するスポーツ団体やスポーツ少年団などに加え、任意のスポーツ団体など多数のスポーツグループに対する活動支援を行います。	ア 総会、運営委員会への出席 イ クラブ活動への支援、連携

施策(大分類)	施策(中分類)	施策の目的	事務・事業
⑨ スポーツ活動の場の提供	(1) スポーツ施設の整備・管理	スポーツ施設の安全・安心な利用のため、拠点となるスポーツ施設の管理と計画的な改修・整備を進めます。	指定管理者による市体育館、 ア 体育施設を付帯する都市公園等の管理運営 イ 体育施設の適正な維持管理 ウ 利用者の安全第一を考えた施設の計画的な改修、修繕

基本方針	～市民一人ひとりの豊かな個性や創造力を伸ばす～
重点施策	3 市民一人ひとりが心豊かで充実した人生を送ることができる社会の実現【社会教育】

実績評価(施策評価)	評価	今後の取り組み課題又は改善点
スポーツ教室、イベント開催をとおして参加者の健康づくり、交流の促進を図ることができ健康で豊かな人づくりに寄与することができた。	A	体育協会が主催するスポーツ教室と連携を取り合い、充実したスポーツ教室やイベントの開催につなげていきたい。

ロードコースで行った健康駅伝大会のほかペタボード交流会、ビーチボール交流会等を教育委員会、スポーツ推進委員が主催し開催する中で、スポーツをとおして多世代間の交流に寄与している。	A	各大会において、幅広い年代にニュースポーツの普及を図ることができている。ビーチボールは競技性が低く子どもから高齢者まで幅広い年代で楽しむことができるため、イベント方法や内容を検討し、より市民が参加できる事業として、計画していく。
--	---	--

実績評価(施策評価)	評価	今後の取り組み課題又は改善点
各大会や事業が盛大に開催された、生涯スポーツの推進的役割を担うスポーツ推進委員と共に大きな役割を果たし、目標を達成することができた。	A	市民に生涯スポーツの推進を図る上で、スポーツ推進委員の役割は大きく、今後も委員の資質向上につなげていきたい。

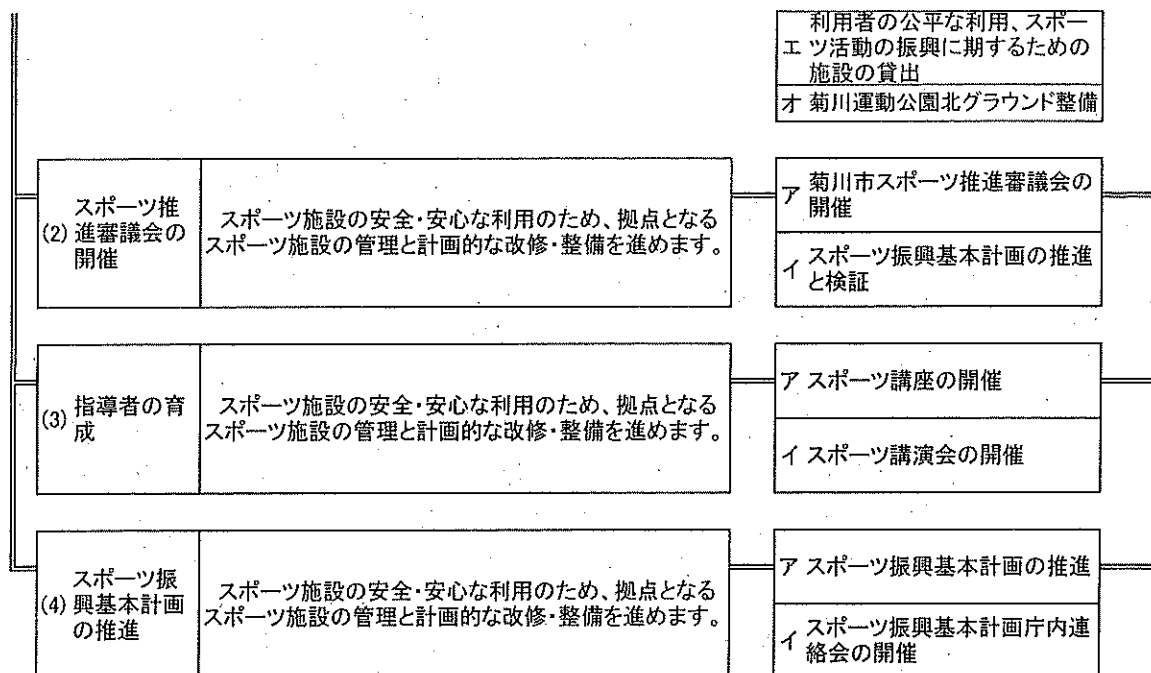
スポーツ委員研修会において、多数のスポーツ委員の参加により盛大に開催された。また地区活動についてもスポーツ推進委員を通じて、多くのスポーツ活動の報告があった。	A	市民に生涯スポーツの推進を図る上で、スポーツ委員としての役割を認識していただくことが重要であり、研修内容の改善や委員としての役割を認識できるよう進める必要がある。
---	---	---

菊川市体育協会への3委託事業については、競技役員ノウハウを生かした円滑な運営により各大会を盛大に開催することができた。体育協会の自立・支援については、事務局運営の基盤強化を含め、指導していく。	B	体育協会への委託事業については、これまでのノウハウを活かし、事業が進められている。体育協会の自立・支援については継続的に実施していく必要がある。
--	---	--

スポーツ少年団の母集団研修により、青少年の発達時の育成について、指導者の底上げが行われている。また、全国大会等出場選手を支援(補助金・奨励金の支給)、また表敬訪問など市民に広く周知することで対象選手、他選手の励み、士気の高揚につながり、レベルアップにも寄与している。	A	引き続き、スポーツ少年団の支援を行い、青少年の健全育成につなげていく。また、奨励金制度についても、制度の周知に引き続き取り組み、市のスポーツ競技力の向上につなげていく。
---	---	--

「アプロス菊川」の活動に対し継続的に運営支援を行っている。	B	「アプロス菊川」は体育協会の傘下となり、運営している。今後も、アプロス菊川による企画運営事業に対して、どのように協力できるか検討し、必要に応じて協力をし自立支援を行っていく。
-------------------------------	---	---

実績評価(施策評価)	評価	今後の取り組み課題又は改善点
市民へのスポーツ機会の提供のため、市内小中学校施設の貸し出し業務(優先予約申請・使用料減免申請・団体登録申請・抽選会・仮予約受付・本申請受付・使用料徴収、還付・鍵の貸出、返却)を実施しているが、業務内容は多岐にわたる。	B	体育施設の貸し出し業務は細かな点が多いが、市民サービスの低下を招かないよう、また併せて業務簡略化を図るために、電子申請などシステム導入の検討も必要である。また、小中学校体育館の貸出を問題なく行うことができるよう、引き続き各小学校と連携を密にし進めていく。北グラウンドについては、引続き関係部署と協議し、整備方針、事業スケジュール等を作成し整備に向けて進めていく。



<p>本市スポーツ振興基本計画の進行管理については、庁内連絡会での事業成果や改善・問題点などの検証結果をスポーツ推進審議会へ報告し、意見・ご指摘を反映することができた。</p>	<p>A</p>	<p>引続き、庁内連絡会を開催し、進捗状況の確認を行い、検証を行った上、スポーツ推進審議会へ諮っていく。</p>
<p>スポーツ指導者養成のための有意義な講座が開催された。</p>	<p>A</p>	<p>講義の内容の充実や市民への情報提供を行い、多くの指導者等の参加ができるようPR等を行っていく。</p>
<p>スポーツ振興基本計画後期基本計画の初年度であり、各事業の進捗管理表や目標達成等を断続的に協議を行った。</p>	<p>A</p>	<p>今後も、断続的に協議し、当該会議での検証結果をスポーツ推進審議会へ諮り、市のスポーツ振興につなげていく。</p>

施策体系と評価

担当課

図書館

基本目標 「豊かなこころを育むまち」

施策(大分類)	施策(中分類)	施策の目的	事務・事業
⑩ 子どもの読書活動の推進	(1) 読書習慣の定着	第三次菊川市子ども読書活動推進計画を推進するとともに、7か月児相談時にブックスタートを実施し、幼少期からの読書習慣の定着を図る。	ア 子ども読書活動推進計画・推進会議等 イ ブックスタート事業
	(2) 学校図書館と公立図書館の連携	子どもの読書活動の継続のために、学校図書館が機能できるよう公立図書館が連携して事業を実施する。	ア 学校司書派遣事業 イ 団体貸出の推進 ウ パスファインダーの充実
	(3) 移動図書館の充実	なかよし2号で市内の小学校を定期的に巡回し、子どもたちが読書に親しむ機会を提供する。	ア 移動図書館巡回事業 イ 利用者カードの促進 ウ ブックポスト回収・両館回送業務
	(4) 青少年サービスの充実	青少年ボランティアやインターンシップを受け入れるとともに、中高生向けの資料の充実を図り、青少年の読書の習慣化をめざす。	ア ボランティア・インターンシップの支援 イ YAコーナーの充実
	(5) 子ども向けイベントの充実	子どもたちに図書館や本の世界に親しむきっかけを提供するため、おはなし会などの催事を実施する。	ア こども図書館事業 イ 親子読書の集い(おはなしステーション)事業 ウ おはなし会・映画会等

施策(大分類)	施策(中分類)	施策の目的	事務・事業
⑪ 読書環境の整備	(1) 計画的な資料収集と蔵書管理	多様化する市民ニーズに対応するために、一般書、児童書、参考資料、郷土資料、行政資料、視聴覚資料等の確保・充実に努める。	ア 図書館資料の充実 イ 地域資料等の収集とデジタル化 ウ 不用図書等の有効活用
	(2) 専門性を備えた職員の育成	図書館サービスを担う職員の資質・能力向上と、専門性の高い職員の育成活用を目指す。	ア 専門的な研修等への参加促進 イ 職員のスキルアップ強化
	(3) 市民協働による図書館運営の推進	図書に関するボランティア活動の場を創出・提供し、市民との協働による図書館運営を目指す。	ア 図書館サポーターの育成・支援 イ 図書館サポーター情報交換

施策(大分類)	施策(中分類)	施策の目的	事務・事業
⑫ 読書機会の提供・読書活動の啓発	(1) 多様な図書館サービスの提供	すべての人が快適に利用できるよう、図書館の資料やサービスを活用して市民のニーズに応える。	ア バリアフリーサービス イ 多文化サービス ウ 予約・リクエストサービス エ 協力貸出・相互貸借の推進
	(2) 課題解決や多様な学習活動等の支援	図書館利用者が求める資料や情報を提供するレファレンス・サービス等の充実・高度化に努める。また、生涯学習情報その他の情報提供にも努める。	ア レファレンスサービス機能の充実 イ 特設コーナー等の充実 ウ 集会・文化活動の支援

基本方針	～市民一人ひとりの豊かな個性や創造力を伸ばす～
重点施策	3 市民一人ひとりが心豊かで充実した人生を送ることができる社会の実現【社会教育】

実績評価(施策評価)	評価	今後の取り組み課題又は改善点
関連機関と協議を行い、第三次菊川市子ども読書活動推進計画に基づく事業を推進した。	A	第三次菊川市子ども読書活動推進計画に沿って施策を実行していくにあたり、各施設や各団体との連携・協力を密に行う必要がある。
学校や各種団体と連携をとり、計画どおりに事業を進めることができた。	A	学校図書館支援をより充実させるために、学校図書館ボランティア等の人材育成についても検討していく。
市立図書館児童書の年間貸出冊数(12歳以下の子ども一人あたり)は増加傾向にあり、施策の効果が表れている。	B	移動図書館なかよし号の利用が大幅に減少している。本の補充や入れ替えをこまめに実施していく必要がある。
ボランティアやインターンシップ等は積極的に受け入れ、図書館を知ってもらう機会を増やした。	A	高校生、大学生の読書はなれは全国的であり、菊川市においても例外ではない。図書館、読書の魅力を知ってもらう手段として、情報発信方法の工夫が必要である。
子ども向けイベントの充実によって、来館者数の増加に繋がった。	A	子ども図書館は平成28年度から開始し、平成30年度で3回目の開催となる。休館日を子どものために開館し、普段と違う雰囲気のある図書館を楽しんでもらう特別なイベントであるので、今後も継続実施できるよう進めていく。

実績評価(施策評価)	評価	今後の取り組み課題又は改善点
適切な蔵書管理により、平成30年度市立図書館サービス指標(県内市立図書館対象)の中で、1,000人あたり蔵書冊数、1,000人あたり受入冊数ともに上位となった。	A	老朽化した資料の買替えや、小学校英語教育向け資料の不足に対応した蔵書管理が必要である。
職員が各自担当業務や自身の能力を向上させるための研修に参加し、研修内容を他の職員と共有することで図書館運営の改善を図った。	A	菊川文庫、小笠図書館両館のサービスに差がないよう、2館の担当者打合わせ会を開催する必要がある。
図書館サポーターの協力により、おはなし会等の参加者数を増加させることができた。	B	図書館サポーター連絡会・研修会等、サポーター育成のための機会を設ける必要がある。

実績評価(施策評価)	評価	今後の取り組み課題又は改善点
郷土資料や専門性の高い本を県内外から借り受け、市民のニーズに応えることができた。	A	予約やリクエスト、相互貸借を活用する利用者に偏りがみられる。制度やさまざまな予約方法を周知する必要がある。
多様な講座やテーマ別置等を行うことにより、市民の学習活動の支援を行うことができた。	A	レファレンスについては、職員全員が情報共有できるように、過去の事例をまとめたものが必要である。

(3) 情報提供の推進	紙媒体とデジタル媒体のハイブリッド図書館として、多様な方法で市民への情報提供を図る。	ア 高度化するICTへの対応 イ ホームページの充実 ウ 新聞記事・データベースの活用
-------------	--	---

施策(大分類)	施策(中分類)	施策の目的	事務・事業
⑬ 図書館の適正な管理運営	(1) 効果的な図書館運営の検討	効果的な図書館運営、市民サービスの充実向上を図るために図書館協議会を開催し、図書館のあり方等について検討する。	ア 図書館運営の推進及び検証(図書館協議会) イ 自主財源確保に向けた取組の充実

Wi-Fi接続利用による情報収集の機会提供や、データベースを利用した情報の獲得など市民の様々なニーズに対応できた。	A	図書館での情報獲得の機会の提供やホームページでの情報提供に加え、SNSを活用して情報発信を実施する。
---	---	--

実績評価(施策評価)	評価	今後の取り組み課題又は改善点
図書館協議会では、菊川市子ども司書など図書館活動の推進に繋がる審議を行うことができた。	B	スポンサー10社以上から提供雑誌30冊以上を達成目標に、本制度拡充のために、企業訪問での呼掛けをより一層進めていく。

外部評価

教育委員会の活動「シート1」及び管理執行する事務「シート2」に対する外部評価

教育委員会の活動及び運営状況について

- ・学校及び教育施設訪問
各校・施設に対して何を聞きたいかを事前に質問や提案などを伝えておいて、それらの説明をしたうえで協議したり、また当該年度の協議テーマ等を伝えておき、それらについての意見交換を進めていく方法も良い。
- ・各種行事・大会名欄の各行事名の後ろに括弧書きで(参加者〇名、新任〇名、参加〇団体)などを記入することで、より成果の見える化ができる。

教育委員会の活動に対する点検評価結果について

- ・シート1の表の見方において、重要度のC評価が「緊急性は無い」とあるが、表現を変えたほうが良いように思う。例えば、緊急性が低いや継続的注視など。「無い」ということは、一般的に受ける印象があまり良くない。何かあるまで(起こるまで)何もしないというようにも取れてしまう。
- ・教育委員会と事務局との連携は、重要度Aなら実現度も達成又はほぼ達成となるべきではないか。

教育委員会が管理執行する事務に対する点検評価結果について

- ・文化財関連の議案や請願、陳情、訴訟及び異議の申し立てが無かったという事なので、実現度としては、Cで良い。

幼児教育課に対する外部評価

I 幼児教育・保育の質の向上

- ・家庭教育学級(講演会、講話会)では、特に家庭教育学級については、長年にわたり成果を上げてきているが、もう一度原点に立ち帰る意味で、学級の内容や質、学級生(保護者等)の意欲や考え方にも目を向けて検討してみてはどうか。
- ・保護者の保育参加の推進の事業実績では、保育参加を実施することでとあるが、保育参加を実施したことで、とした方が良い。
- ・図書館との連携では、目的、目標、実績に図書館という言葉が出てこないなので、どこかに言葉を入れた方が良い。
- ・幼児教育・保育の充実は、保護者一人ひとりの保育力を高めることが必要であると思います。今後も引き続き、質の高い研修を計画的に実施されるようお願いします。

II 地域社会・私立幼稚園・保育園・認定こども園・小中学校との連携

- ・いずれかの事務事業の中に敬老会を含めても良いのでは。
- ・幼児施設連絡会の事業実績では、研修会を4回実施し連携が図られた。とした方が目標と整合が取れるのではないか。

・生涯学習の中で、人間形成の基礎を培う乳幼児教育は、重要な位置を占めると思います。各関係機関と連携を図ることで、生涯を見通した教育、また、社会の一員として人との関わりを楽しみながら、より良く生活していく力の育成を引き続きお願いします。

③教育・保育サービスの充実

・預かり保育・延長保育・希望保育の実施では、点検評価とは別に、既にやっていると思いますが、事業実績が示す人数が多いのか少ないのか、更に需要が増していくのかなど、今後の見通しを慎重に研究していただきたい。

・病後児保育の実施では、丁寧な事業説明・周知を進めていただきたい。

・様々な保育サービスの充実に努めていただき感謝します。子どもの育ちにつながる保育サービスとより良いサービスのため、保育者の人員確保をお願いします。

④安心できる子育て環境の整備

・施策の目的の「施設の適切かつ適正な事業を実施する。」とあるが、内容を詳しく記載してほしい。

・園外保育の充実、公園等の活用では、どちらも達成状況が今ひとつ明瞭でないので、もう少し表現を工夫してほしい。

・限られた予算の中で計画的に施設・環境整備を進めていただいている事は、大変有難いことだと思います。市内には、老朽化がかなり進んでいる施設があり、幼児期にふさわしい教育を行うための環境整備を今後も継続していただけるようお願いいたします。

学校教育課に対する外部評価

①「一人ひとりが生きる教育」の推進

・外国人児童生徒就学支援では、事業実績の数字は、全部で何人いて、この数字になったのかわかるようにした方が良い。

・自分の命は自分で守る防災教育では、事業概要の表現を「避難訓練に行ったり」、「避難所運営委員会を開催したり」とした方が良い。

②ICT環境を生かした魅力ある授業づくり

・ICTを活用した教育をさらに高めていってほしいと思います。同時に合理性やメカニカルな面だけでなく、情緒(心)教育の育成にも生かしてほしい。

・英語力について、小さい頃から英語に接する事ができるのは、我々の世代からすれば羨ましいし、素晴らしい社会経験であると思います。英語は難しいものではなく、日本語と同じひとつの言葉だという意識で楽しく学べる環境を創っていただきたい。

③思いやりに満ちた学校づくり

・増加傾向にある不登校に対する対策等の検討をお願いします。

④中学校区等を核とした学びの環境づくりの推進

・今後の取組課題又は改善点では、地域の理解と地域との連携は大変重要であると考えてるので、学舎運営協議会においては、慎重な協議と地域意見を十分反映できるような、透明性のある議論をお願いしたい。地域の自治会活動や住民活動に過度な負担が掛かることなく、地域全体で支え合える構想を練っていただきたい。

⑤こころざしを持った頼もしい教職員の育成

・教職員の皆さんは各種目標や課題が多く、大変な忙しさであると察します。健康には十分留意され、家庭を守りながら、自らの居場所を失することなく、邁進していただきたい。

教育総務課(給食センター) 事務事業に対する外部評価

⑥学校施設の適正な維持管理・耐震化・長寿命化

・照明がLEDに変わった事で、快適な環境になったと思います。ぜひ全ての照明をLED化していただけたらと思います。

・耐震化が済んでいない学校があったということに驚きました。各学校の耐震評価を見てみたい。

⑦安全で安心して教育が受けられる環境づくり

・無線LANの整備が実施されたことは、とても喜ばしいことですが、学校によっては使いやすい環境である所とそうでない所があると聞きます。

・家庭への支援に関しては、全ての児童が同じ条件で勉強できるよう、必要とする家庭の取りこぼしがないようにサポートを継続してほしい。

⑧安全でおいしい給食の安定的な提供

・今回給食センター運営委員として、給食について真剣に考える機会を与えていただき、ありがとうございました。給食に関わる方々の努力や姿勢にとっても感銘を受けました。

・残食率3%以下にするために各学校のノルマがあるのでしょうか。栄養士さんや調理師さんの献立による給食を美味しく食べ、その結果給食を残さなくなるということを考えていただきたい。

・残食率をもっと子どもたちに知ってもらいたいと思いますので、各小・中学校の残食量を出して、「給食を残さないぞ」大会などを開催してみてもどうか。

社会教育課(社会教育)に対する外部評価

①地域で子どもを守り育てる

・各地域での青少年健全育成市民会議支部活動が活発に行われている。

・街頭生活指導では、巡回訪問した店舗において、注意を受けた店舗が有害図書の陳列を取りやめたため、成果があると思います。

・映画鑑賞は継続してほしい。

・ボランティアの精神は、小さい頃から自然に身につくよう、ゆっくり指導していただきたい。

②家庭の教育力向上

・通学合宿は異年齢間での交流ができる良い機会であり、地域の大人たちとの触れ合いができる機会でもあるため、継続すべき活動であると思います。

・地域教育協議会での検討内容などは、社会教育委員会で共有したい。

・家庭教育支援員の活動促進には賛成です。

社会教育課（生涯学習）に対する外部評価

③生涯学習活動の推進

・人生において、生きている間は生涯学習である。行政が市民に向けて様々な講座やイベントへの機会を発信することは、今後も継続してほしい。

・年齢を問わず参加できるイベントや男女問わず参加できるイベントなど、できる限り考えて実施してほしい。

・生涯学習推進委員は地区により選出方法が少し異なるが、班長の中から選出されるのが大半であると思います。年に1～2回の研修会に参加のみの委員もいれば、委員が中心となり、イベントを企画、開催する委員もいますので、生涯学習推進委員の活動内容など、もう少し徹底したほうが良い。

・人生100歳を目指す時代、高齢者に生涯学習を推進していく必要があると思います。高齢とともに足腰が弱くなり、移動が困難になるので、出前形式も必要だと思います。

・「生涯学習だより」の各戸配布は、市民に生涯学習を周知するのに大変良いと思います。

・健康マイレージ事業では、ステップアップ講座の運動、体操講座に加え、体育協会でも実施しているため、参加者が増えたと思います。

・生涯学習推進委員の方々が先頭に立って活動している各地区において、年度末に活動事例を報告しているところがあるが、市民は他地区の活動内容を知らないと思うので、どのように報告しているかを知りたい。

社会教育課（社会教育）に対する外部評価

④鑑賞機会の提供

・アエルの運営については、アエルの職員が館長を中心に頑張っていることが伺えます。

・リーチアウト事業は、伝統文化を身近に感じることでできるとても良い機会となっている。

・クラシックや歌舞伎、能、狂言等古来の伝統芸能に触れあう機会があればと思います。

⑤市民の文化・芸術活動への支援

・小さい頃から良い芸術、文化、伝統に触れあう機会をもつことは必要である。文化協会の主催する4つの事業は、市民が自ら文化と親しめるよいチャンスであると思います。

・写生大会に中学生の参加が少ないと感じる。

社会教育課（文化振興）に対する外部評価

⑥文化財の保存・周知・活用

・「文化財の保存」の観点からも、「指定」を積極的に実施していく必要がある。

・「文化財の周知・活用」を進めるため、文化財ウォーキングを実施していただきたい。そのためにも「文化財(指定文化財)ガイド」や「文化財マップ」の作成が必要となる。

社会教育課（スポーツ振興）に対する外部評価

⑦誰もがスポーツに触れあう機会の創出

・シニア体操教室や夏休み親子スポーツ教室を開催して、受講者の健康づくりや体力づくり、親子の交流づくりに大変役立っていると思います。

・地区の回覧でも「〇〇スポーツ体験会開催」などと案内があり、活発に活動していると思います。

⑧スポーツ団体・スポーツ活動への支援

・地域のスポーツ推進のために活動しているスポーツ推進委員の存在は、大変大きな意味があるが、現在、委員をやってくれる人がいないという悩みがある。また、委員になってくれても、任期のみで退任してしまうので、ベテランの委員が育っていかないといます。

⑨スポーツ活動の場の提供

・市内3つの体育館の利用率は大変良く、年々向上してきている。体育協会が指定管理者として管理し、利用者の利便性を考慮した維持管理を心掛けているが、建物自体が老朽化しており、追いつかない面もある。

・北グラウンドの整備について、できるだけ早く完成するよう努めていただきたい。

図書館 事務事業に対する外部評価

⑩子どもの読書活動推進

・子どもたちに読書のおもしろさや興味を抱かせるように、子ども向けのイベントを積極的に推進し、利用者カードの促進等により、子どもの読書活動を推進してほしい。

・第三次菊川市読書活動計画を実行していくにあたり、より具体的な計画と実行が重要だと思います。子どもの成長に欠かせない本との出会いがあり、そのためにも職員として生きがいを感じて、前進してもらいたい。

⑪読書環境の整備

・古い本をリサイクルして、時代に沿った新図書を充実してほしい。

・ボランティア活動の場を提供し、図書館サポーターの協力により、図書館の環境整備を図ってほしい。

・時代に合ったデジタル化は有効だと思います。

⑫読書機会の提供・読書活動の啓発

・特設コーナーの利用により、利用者の興味がわき、読書機会のチャンスとなるので、読書活動の啓発となると思います。

・外国人の利用人数の把握と利用実態、問題点の解決をお願いしたい。

⑬図書館の適正な管理運営

・図書館の管理運営の推進において、近隣市の図書館の視察研修を行い、他図書館の良さを学ぶのも良いと思う。

・スポンサー制度も図書館だけでなく、市役所全体のテーマとして共有し、推進していければと思います。

総評:教育委員会全般について

・評価報告書を拝見させていただき、計画的かつ順調に真摯な取り組みがなされていることが伺えました。今後も計画的な施設整備や維持、児童生徒指導・育成、新たな教育システムの構築などの推進に努めていただきたいと思います。

・特に現場の意見には真摯に聞く耳を持ち、今何が必要なのかを的確に把握しながら、限られた予算を有効に使ってほしいと思います。

・それぞれの事業点検評価において、概ね妥当な評価がなされていると感じました。私自身の指摘も誤った見方をしている場合がありますが、それらの点については、ご容赦願いたいと思います。

・社会教育委員会でも、中学校区等を核とした学びの環境づくりの推進についての案件を教育長からお聞きし、今後の活動に絡めて協議していきたいと思います。

・菊川市に在住、在勤若しくは今後菊川市へ来られる外国の方々への日本語教育や生活全般へのアドバイス、支援など行政と協力して推進していきたい。

・英語教育については、ALTへの研修、スキルアップ教育、小・中学校の英語担当教諭への研修等の充実を望んでいます。研修会や講座の回数が増えれば、選択肢が増え、参加できる教諭も増えると思います。

・通学路の危険箇所に対して、対策がとられていない箇所があるので、対策がとられた箇所を含めて、理由と結果を公表してもらいたい。

・南海トラフ大地震などで想定外を考えておかなければならないと思いますが、津波や被害想定など知らない保護者が多いが、自分で調べることはしないので、できれば学校からのおたより等で教えていただけたらありがたいと思います。

・家庭教育の推進に関することですが、本来は、保護者が「子育て」や「しつけ」について学び、保護者同士でお互いに話し合い、自身の子どもの健全なる成長をすることだと思いますが、最近では、保護者の就労に伴い、大事な子どもの「しつけ」ができない保護者が多いと思われることから、常識あるあいさつや感謝の心を表せない子どもが多く見受けられます。基本的なあいさつができるようご指導をお願いします。

・「地教行法」に基づく「自己点検・評価報告書」の作成作業、ご苦勞様です。作成のための事務量は大変なものであろうと思いますが、もう少し簡素なものにできないか部内でご検討ください。

・図書館関係としては、子どもたちが大人になる大事な時に本と親しんで、人間的成長に役立ててほしいと思います。そのために色々工夫して推進していただきたい。

・一般的に良いことだけを報告されていると思いますが、悩みや問題点も隠さず公表してほしい。

・地域や関係者の協力を呼び掛けていると思いますが、知らないことが多く、指導ができない。

教育委員会点検・評価報告書

令和元年8月

菊川市 教育委員会 教育総務課

〒437-1514

静岡県菊川市下平川 6225

TEL 0537-73-1136 FAX 0537-73-6863

E-mail : kyouiku@city.kikugawa.shizuoka.jp